P2WW-4570-06Z0

# PaperStream Capture 6.2

# スタートアップガイド

# はじめに

- **本製品について**

  PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、および PaperStream Capture Pro Premium は、業務用 イメージ スキャナーを利用して原稿を読み取るためのアプリケーションです。
  本書では、PaperStream Capture を初めて使用される方を対象に、PaperStream Capture を使用して、業務用 イメージ スキャナーで読み取りを行う方法について説明しています。

- **商標および登録商標**

  Microsoft、Excel、Office、PowerPoint、SharePoint、Outlook、Windows、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
  ISIS は、Open Text の商標です。
  Intel および Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
  QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
  ScanSnap および PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。
  その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

- **開発・販売元**

  株式会社 PFU
  〒 220-8567
  神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5（横浜アイマークプレイス）

- **ハイセイフティ用途での使用について**

  本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

- **発行日・発行責任**

  発行日 2026 年 10 月
  発行責任 株式会社 PFU
  ©PFU Limited 2024-2026

- **お願い**

  - 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
  - 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
  - 無断転載を禁じます。

# 本書をお読みになる前に

- **マニュアルの種類**

  本製品には、次のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

  **PaperStream Capture スタートアップガイド**

  PaperStream Capture を初めて使用される方を対象に、PaperStream Capture を使用して、業務用 イメージ スキャナーで読み取りを行う方法について説明しています。

  **PaperStream Capture ユーザーズガイド**

  PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium を使用して、業務用 イメージ スキャナーで読み取りを行う方法について説明しています。

- **本書で使用している記号**

  本書では、タイトルに以下の記号を使用している場合があります。

  
  
  **：** かんたん作成について説明していることを表しています。

  
  
  **：**こだわり作成について説明していることを表しています。

- **本書での略記**

  本書では、以下の名称について省略して記載しています。

| 本文中の表記 | 名称 |
|---|---|
| Windows 10 | Windows® 10 Home（32/64 ビット）<br>Windows® 10 Pro（32/64 ビット）<br>Windows® 10 Enterprise（32/64 ビット）<br>Windows® 10 Education（32/64 ビット） |
| Windows 11 | Windows® 11 Home（64 ビット）<br>Windows® 11 Pro（64 ビット）<br>Windows® 11 Enterprise（64 ビット）<br>Windows® 11 Education（64 ビット）<br>Windows® 11 Home（ARM 版）<br>Windows® 11 Pro（ARM 版）<br>Windows® 11 Enterprise（ARM 版）<br>Windows® 11 Education（ARM 版）<br>Windows® 11 Pro Education（ARM 版） |

| 本文中の表記 | 名称 |
|---|---|
| Windows Server 2016 | Windows Server® 2016 Standard（64 ビット） |
| Windows Server 2019 | Windows Server® 2019 Standard（64 ビット） |
| Windows Server 2022 | Windows Server® 2022 Standard（64 ビット） |
| Windows Server 2025 | Windows Server® 2025 Standard（64 ビット） |
| Windows | Windows 10、Windows 11、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows Server 2022、および Windows Server 2025 |
| Word | Microsoft® Word |
| Excel | Microsoft® Excel® |
| PowerPoint | Microsoft® PowerPoint® |
| SharePoint | Microsoft® SharePoint® Server 2016<br>Microsoft® SharePoint® Server 2019 |
| SharePoint Online | Microsoft® SharePoint® Online |
| .NET Framework | Microsoft® .NET Framework |
| Outlook | Microsoft® Outlook® |

- **スキャナーのボタン名の表記**

本書では、スキャナーのボタン名を以下のように表記しています。

| 本文中の表記 | 名称 |
|---|---|
| スキャナーのスキャンボタン | ［Scan/Enter］ボタン、［Scan/Stop］ボタンなど、ボタン名に「Scan」が含まれたスキャナーのボタンを総称した表記です。<br>スキャナーのスキャンボタンの名称は、スキャナーの機種によって異なります。詳細は、スキャナーのオペレーターガイドを参照してください。 |

- **PaperStream Capture の起動方法**

PaperStream Capture は、以下の方法で起動できます。

- 「スタート」メニューから起動する
- デスクトップのショートカット（）から起動する

PaperStream Capture をインストールすると、デフォルトでデスクトップのショートカットが作成されます。このため、本書では、デスクトップのショートカットから PaperStream Capture を起動する手順を記載しています。

- **連続する操作の表記**

  本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

  **例 :**「スタート」メニュー→「コントロール パネル」をクリックします。

- **本書に掲載している画面**

  Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
  画面は、改善のため予告なく変更することがあります。
  本書では、Windows 10 または Windows 11 の画面を例に説明しています。
  オペレーティングシステムによって、表示される画面および操作が異なる場合があります。
  表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、実際の画面に従って操作してください。

# 目次


第 1 章 PaperStream Capture とは 9

1.1 説明の流れ ..... 9

第 2 章 PaperStream Capture をインストールする 10

2.1 Setup DVD-ROM からインストールする ..... 10

2.2 セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする ..... 10

第 3 章 PaperStream Capture を起動する 13

第 4 章 読み取りの条件（ジョブ）を設定する 14

4.1 読み取りの条件を簡単に設定する かんたん作成 ..... 15

4.2 より高度な読み取り条件を設定する こだわり作成 ..... 17

第 5 章 原稿を読み取る 21

5.1 読み取った画像を確認/編集する ..... 22

第 6 章 読み取りの履歴を確認する 26

第 7 章 便利な設定に変更する 27

7.1 スキャナーのボタンで原稿を読み取る ..... 27

7.1.1 PaperStream Capture 側の設定 ..... 28

7.1.2 コンピューター側の設定 ..... 29

7.1.3 スキャナー側の設定 ..... 31

7.2 画像の解像度の設定を変更する こだわり作成 ..... 31

7.3 原稿の白紙ページを自動で削除する ..... 33

7.3.1 かんたん作成の場合 かんたん作成 ..... 33

7.3.2 こだわり作成の場合 こだわり作成 ..... 34

7.4 原稿の色（カラー/白黒）を自動判別して出力する ..... 35

7.4.1 かんたん作成の場合 かんたん作成 ..... 35

7.4.2 こだわり作成の場合 こだわり作成 ..... 36

**7.5 画像の向きを自動で補正する ..... 38**

7.5.1 かんたん作成の場合 かんたん作成 ..... 38

7.5.2 こだわり作成の場合 こだわり作成 ..... 39

**7.6 パンチ穴除去をオフにする こだわり作成 ..... 41**

**7.7 読み取り中、読み取り後の画面表示/非表示を設定する ..... 43**

**7.8 読み取り中に画像を確認する ..... 45**

**7.9 画像のファイルサイズを設定する ..... 47**

**7.10 画像を文字の検索ができる PDF ファイルにする ..... 48**

**7.11 画像のファイル名に連番を付ける ..... 50**

**7.12 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する こだわり作成 ..... 51**

**7.13 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報をインデックスファイルに出力する こだわり作成 ..... 55**

**7.14 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報をファイル名やフォルダー名に使用する こだわり作成 ..... 56**

**7.15 原稿内の文字列やバーコード/QR コードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける こだわり作成 ..... 58**

**7.16 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する こだわり作成 ..... 61**

7.16.1 情報を抽出するエリアを手動で追加する ..... 61

**7.17 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報をインデックスファイルに出力する こだわり作成 ..... 66**

**7.18 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報をファイル名やフォルダー名に使用する こだわり作成 ..... 68**

**7.19 定型帳票の種類ごとに画像ファイルを自動で仕分ける こだわり作成 ..... 70**

**7.20 類似の定型帳票を識別する ..... 74**

**第 8 章 運用環境を移出/移入する 77**

**8.1 運用環境を移出する ..... 77**

**8.2 運用環境をほかのコンピューターに移入する ..... 78**

**8.3 運用環境の移入結果を確認する ..... 80**

**第 9 章 PaperStream Capture の仕様 82**

**第 10 章 用語集 87**

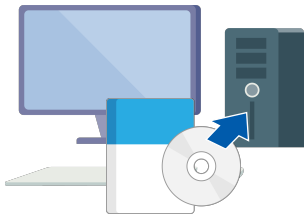
**第 11 章 お問い合わせ 89**

# 第 1 章
# PaperStream Capture とは

PaperStream Capture は、業務用 イメージ スキャナーに添付されている画像読み取り用アプリケーションです。

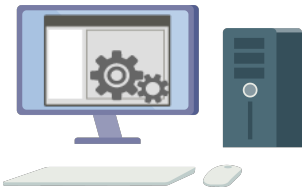
## 1.1 説明の流れ

本書ではスキャナーの接続後、以下の流れで読み取りまでの手順を説明しています。



**1．インストール**

**2．読み取り条件の作成**



かんたん作成

はじめて使う方におすすめです。

こだわり作成

設定をカスタマイズして使いたい方におすすめです。



**3．原稿読み取り**

# 第 2 章
# PaperStream Capture をインストールする

インストールは、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで Windows にログインした環境で実行してください。

## 2.1 Setup DVD-ROM からインストールする

Setup DVD-ROM をお持ちの方は、コンピューターの DVD ドライブに DVD-ROM をセットし、画面の指示に従ってインストールしてください。




インストール後のソフトウェアが最新でない場合は、Web サイトからセットアッププログラムをダウンロードしてインストールしてください。手順は、2.2 セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする (10 ページ)を参照してください。

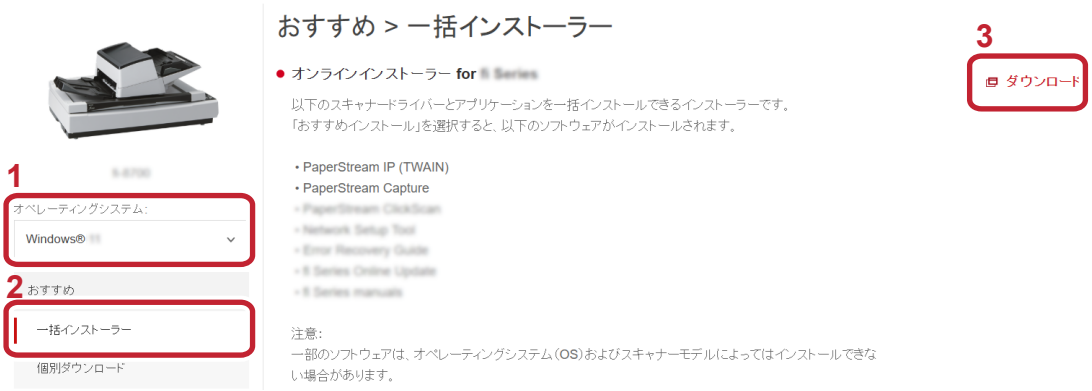
## 2.2 セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする

1. **コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。**
2. **ダウンロードサイトに接続します。**
   https://www.pfu.ricoh.com/fisp/dl/
3. **お使いのスキャナー画像を選択します。**

「カテゴリーを選択」で表示を絞り込むことができます。




**4 お使いのオペレーティングシステムが選択されていることを確認し、「おすすめ」→「一括インストーラー」で「ダウンロード」をクリックします。**




「一括インストーラー」が表示されない場合は「おすすめ」→「個別ダウンロード」で以下の「ダウンロード」をそれぞれクリックします。

- PaperStream IP(TWAIN)

- PaperStream Capture




**5 以下の画面が表示された場合は、「オンラインインストーラー」をクリックし、画面の表示に従ってダウンロードを行ってください。**

表示されない場合は、次の手順へ進んでください。




**6 ダウンロードしたインストーラー（.exe）をダブルクリックして実行します。**

画面の表示に従って、インストールを進めてください。

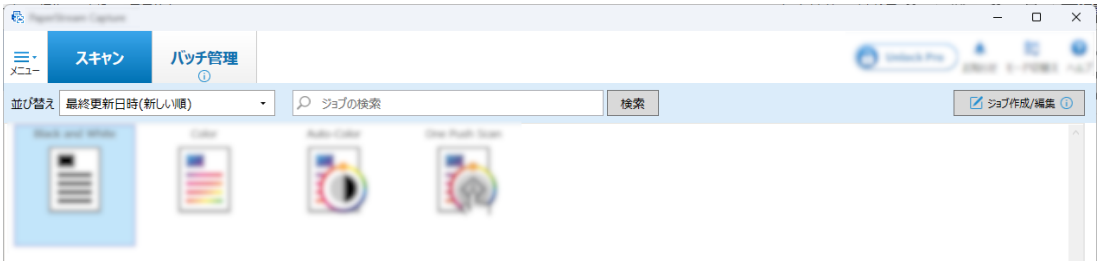
コンピューターを再起動するメッセージが表示された場合は、コンピューターを再起動してください。

「個別ダウンロード」の場合は、PaperStream IP→PaperStream Capture の順番でインストールしてください。

# 第 3 章
# PaperStream Capture を起動する

**1 デスクトップのをダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。**

PaperStream Capture のメイン画面が表示されます。



# 第 4 章
# 読み取りの条件（ジョブ）を設定する

PaperStream Capture は、バッチスキャンモードとシンプルスキャンモードの 2 つの方法で読み取りができます。

- **タイプ別おすすめ操作**

**A タイプ：はじめて使う方**

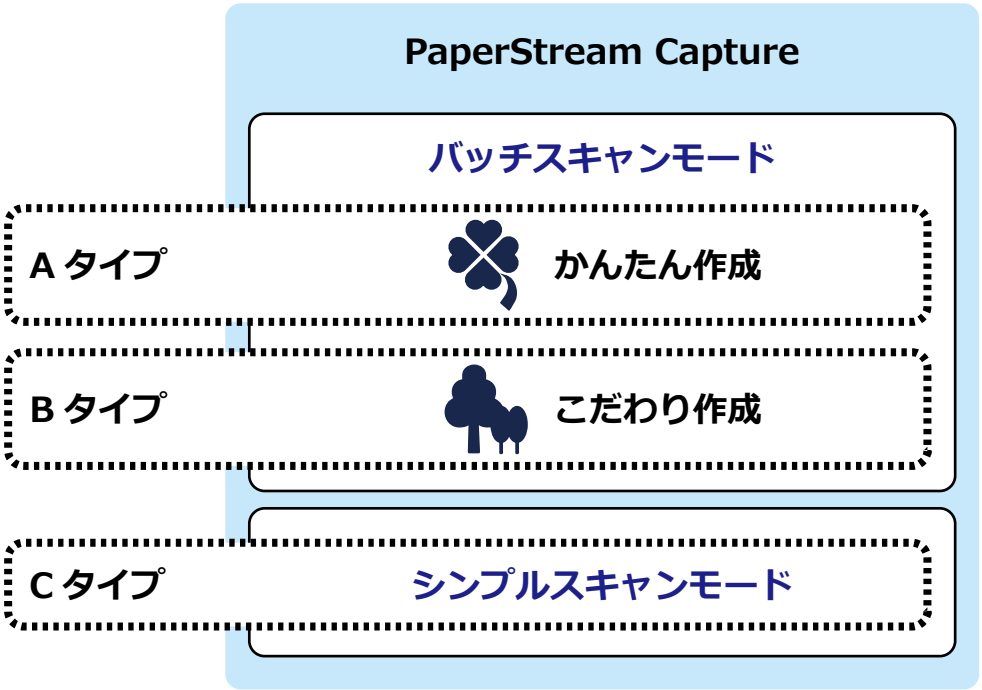
バッチスキャンモードのかんたん作成がおすすめです。バッチスキャンモードは、読み取りのパターンが決まっている定型業務向けの読み取り方法で、事前にジョブを設定し、設定内容に従って読み取りができます。詳細は、4.1 読み取りの条件を簡単に設定する かんたん作成 (15 ページ)を参照してください。

**B タイプ：設定をカスタマイズして使いたい方**

バッチスキャンモードのこだわり作成がおすすめです。詳細は、4.2 より高度な読み取り条件を設定する こだわり作成 (17 ページ)を参照してください。

**C タイプ：一時的に手軽に使いたい方**

シンプルスキャンモードがおすすめです。シンプルスキャンモードは、パターン化されていない非定型業務向けの読み取り方法です。ファイルの保存先、ファイル名、ファイルの保存形式などの設定内容を、必要に応じて変更して読み取りができます。詳細は、「PaperStream Capture ユーザーズガイド」を参照してください。



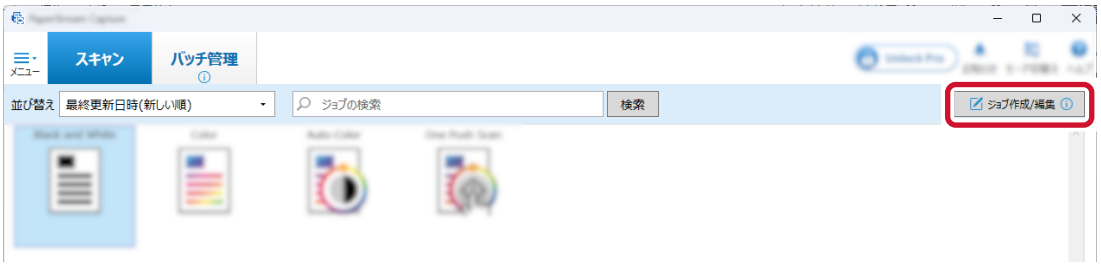
## 4.1 読み取りの条件を簡単に設定する かんたん作成

かんたん作成でジョブを作成する手順を説明します。

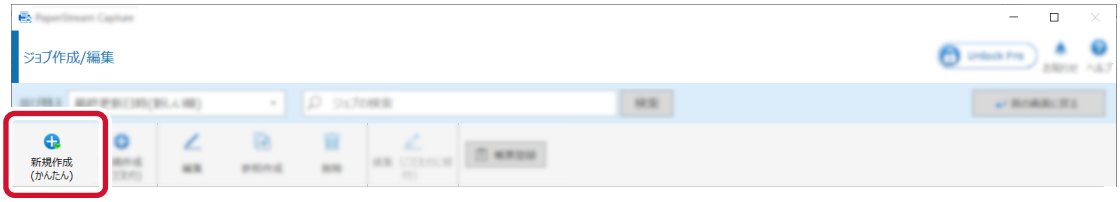
ここでは、A4 原稿を解像度 200dpi のカラー画像の PDF 形式でファイルを生成して、フォルダーに保存するジョブの作成手順を例に説明します。

**1 スキャナーの電源がオンになっていることを確認します。**

**2 PaperStream Capture のメイン画面で、［ジョブ作成/編集］ボタンをクリックします。**




**3 ［新規作成（かんたん）］ボタンをクリックします。**




**4 「画像として保存」の［作成開始］ボタンをクリックします。**



**5** **「読み取り設定」タブの「スキャナー」で使用するスキャナーを選択して、「読み取り設定」を以下の設定にします。**

**画像タイプ：**カラー

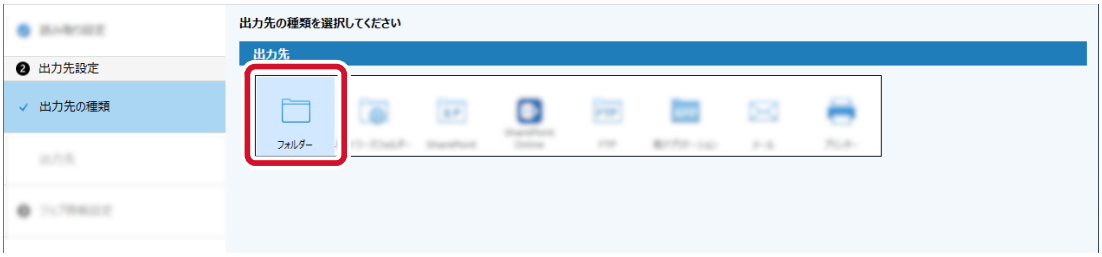
**解像度：**　200dpi

**用紙サイズ：**自動




**6** **［次へ］ボタンをクリックします。**

**7** **「出力先設定」タブの「出力先の種類」で、出力先の種類「フォルダー」をクリックします。**



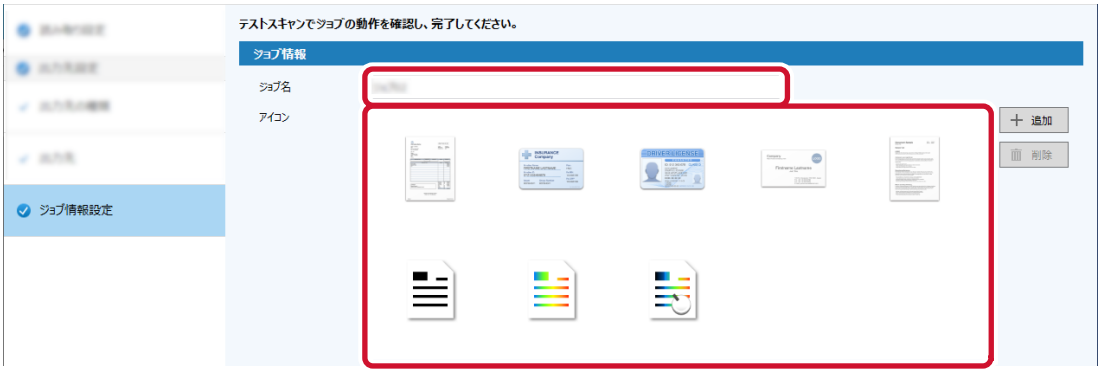

**8** **［次へ］ボタンをクリックします。**

**9** **「出力先設定」タブの「出力先」で、読み取った画像を保存するフォルダーとファイル名を設定して、画像のファイル形式を選択します。**




**10** **［次へ］ボタンをクリックします。**

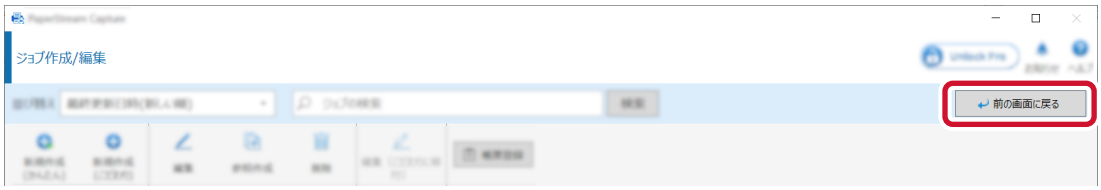
**11 「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。**




**12 各タブの設定が完了したら、ジョブの作成を終了します。**

**a ［完了］ボタンをクリックします。**

**b ［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**




メイン画面に戻ります。

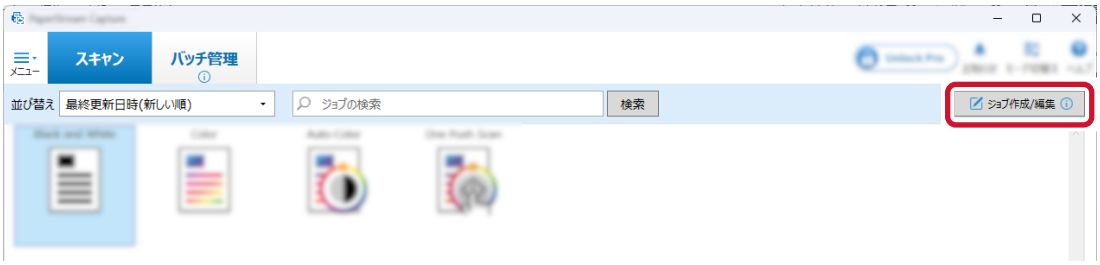
## 4.2 より高度な読み取り条件を設定する こだわり作成

こだわり作成でジョブを作成する手順を説明します。

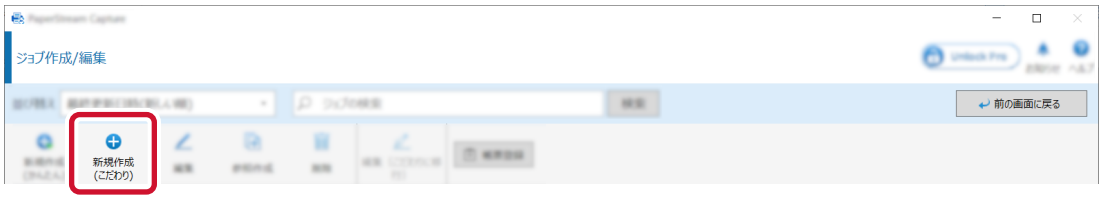
ここでは、A4 原稿を解像度 200dpi の白黒画像で PDF 形式としてファイルを生成して、「SCAN」+「読み取り年月日」+「読み取り時間」（SCANyyyyMMddHHmmss）のファイル名で自動保存するジョブの作成手順を例に説明します。
また、バーコードを検出するごとに読み取りファイルを分割します。

**1 スキャナーの電源がオンになっていることを確認します。**

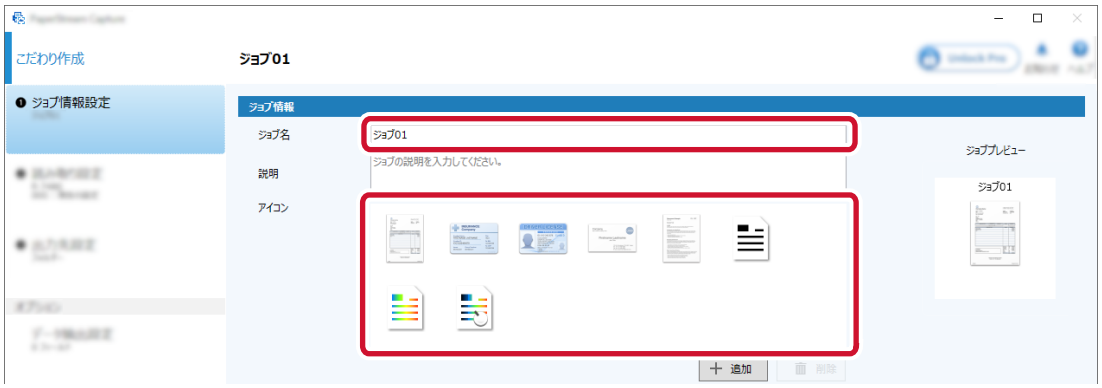
**2 PaperStream Capture のメイン画面で、［ジョブ作成/編集］ボタンをクリックします。**



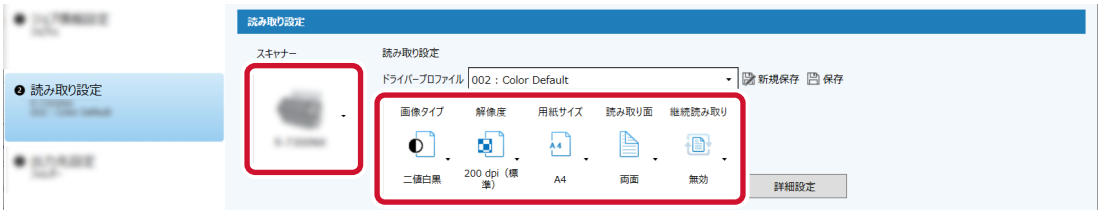
**3 ［新規作成（こだわり）］ボタンをクリックします。**



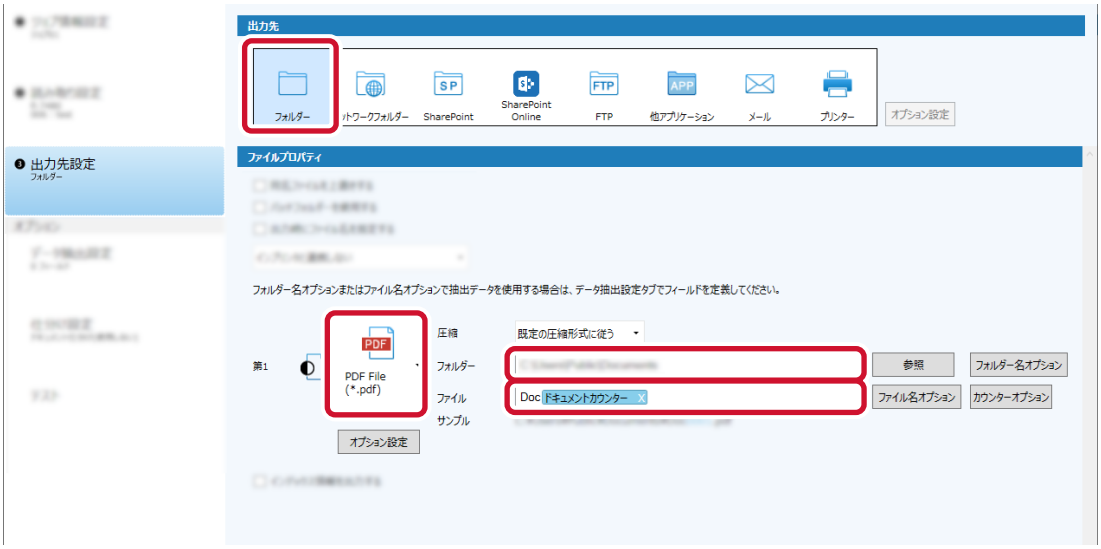

**4 「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。**




**5 「読み取り設定」タブの「スキャナー」で使用するスキャナーを選択します。また、「読み取り設定」で「画像タイプ」、「解像度」、「用紙サイズ」、および「読み取り面」を設定します。**




**6 「出力先設定」タブで、出力先の種類、出力ファイルの形式、ファイルの出力先、およびファイル名を設定します。**




［ファイル名オプション］ボタンをクリックするとメニューが表示され、ファイル名のオプションを指定できます。ファイル名を「SCAN」＋「読み取り年月日」＋「読み取り時間」（SCANyyyyMMddHHmmss）の形式にする場合は、以下の手順で設定します。

**a** 「ファイル名」に「SCAN」と入力します。

**b** ［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。

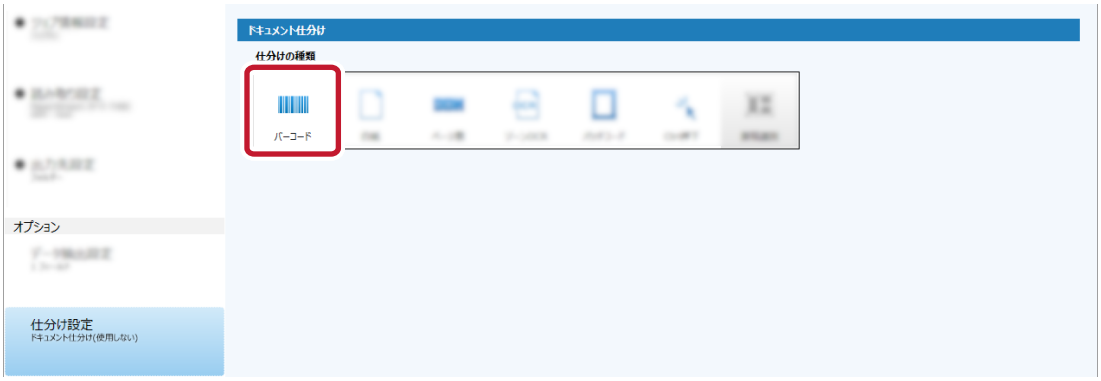
**c** 「出力日」-「yyyyMMdd」を選択します。




**d** 「出力時刻」-「HHmmss-24 時間表記」を選択します。




**7** 「仕分け設定」タブの「仕分けの種類」で「バーコード」を選択します。



**8 分割に使用する原稿に複数のバーコードがある場合は、「バーコード文字列」チェックボックスにチェックを付けます。認識させたいバーコードの文字列を入力し、ドロップダウンリストから認識の条件を選択します。**



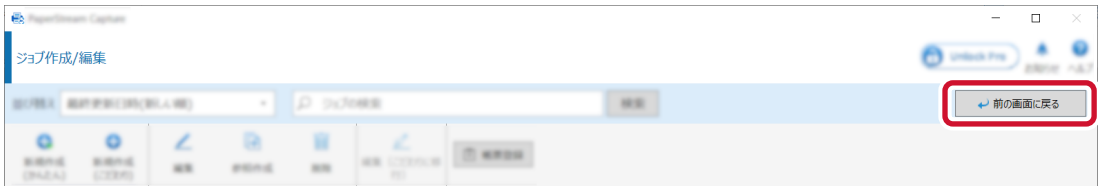

**9 各タブで設定内容の変更が完了したら、ジョブの作成を終了します。**

**a ［保存］ボタンをクリックします。**

**b ［閉じる］ボタンをクリックします。**




**c ［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**



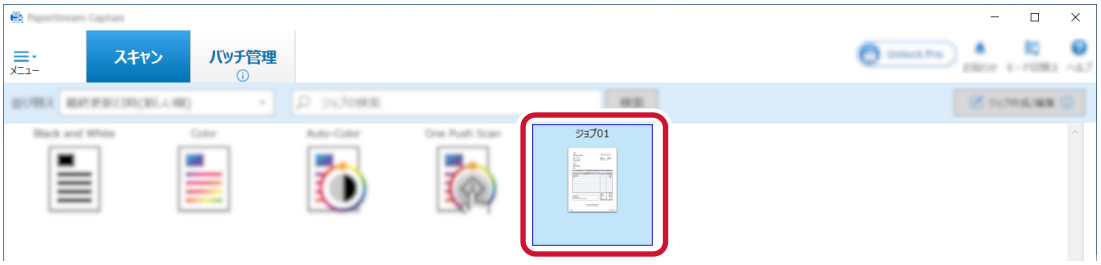

メイン画面に戻ります。

# 第 5 章
# 原稿を読み取る

PaperStream Capture の画面から、ジョブを使用して原稿を読み取る手順を説明します。

**1 スキャナーの電源がオンになっていることを確認し、読み取る原稿をセットします。**

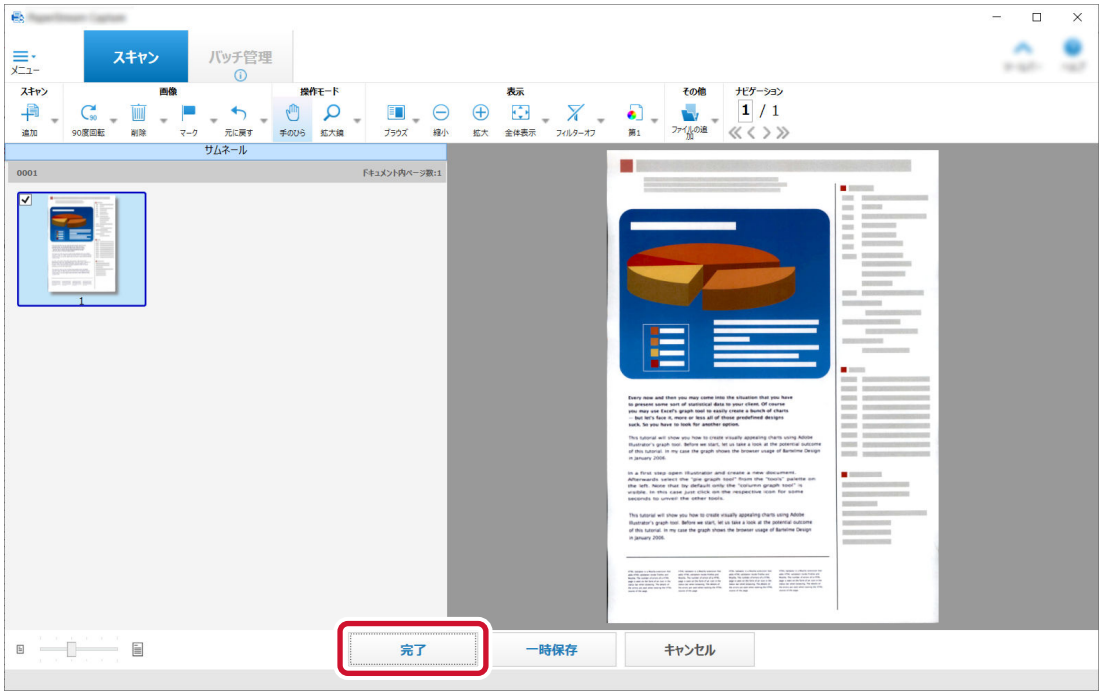
**2 PaperStream Capture のメイン画面で、使用するジョブのアイコンをクリックします。**
使用するジョブのアイコン（ここでは「ジョブ 01」）をクリックします。ジョブを作成していない場合は、サンプルジョブをクリックします。




原稿の読み取りが開始されます。

読み取りが完了したら、画像を確認 / 編集する画面が表示されます。

**3 読み取った画像を確認し、[完了] ボタンをクリックします。**
読み取った画像を修正したい場合は、[完了] ボタンをクリックせず、5.1 読み取った画像を確認/編集する (22 ページ)を参照してください。

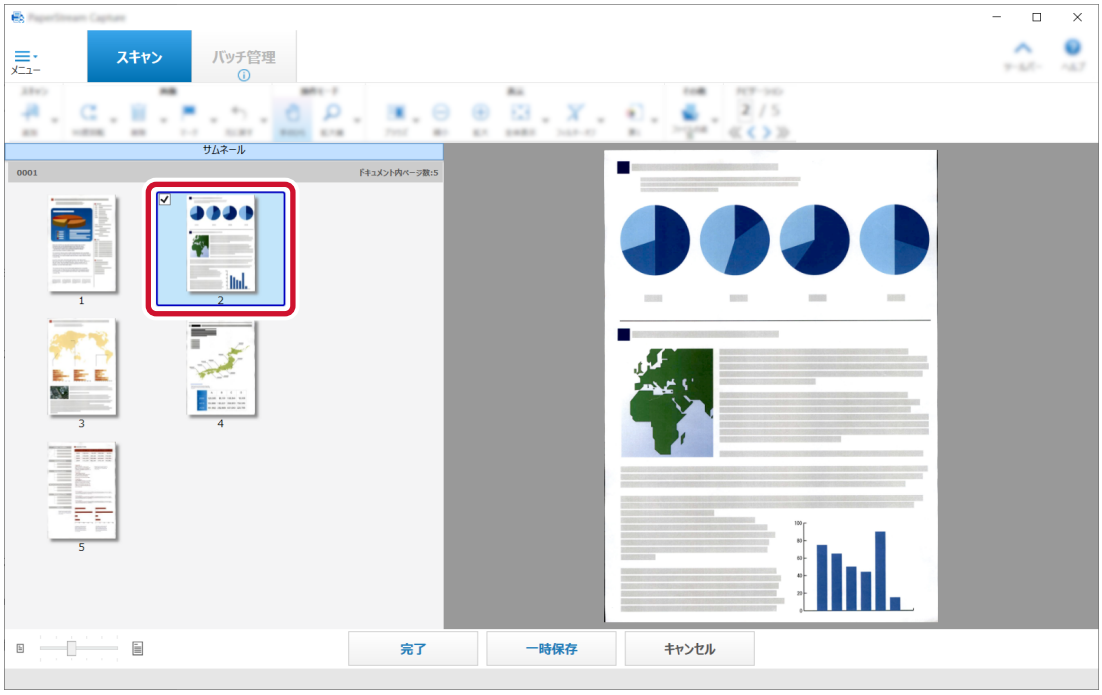



ジョブで指定した出力先のフォルダーにファイルが保存されます。

## 5.1 読み取った画像を確認/編集する

原稿を読み取ったあとに表示される画像を確認 / 編集する画面で、読み取った画像を編集したり、再度原稿を読み取って追加または差し替えたりできます。

**1 サムネールで対象のページを選択します。**



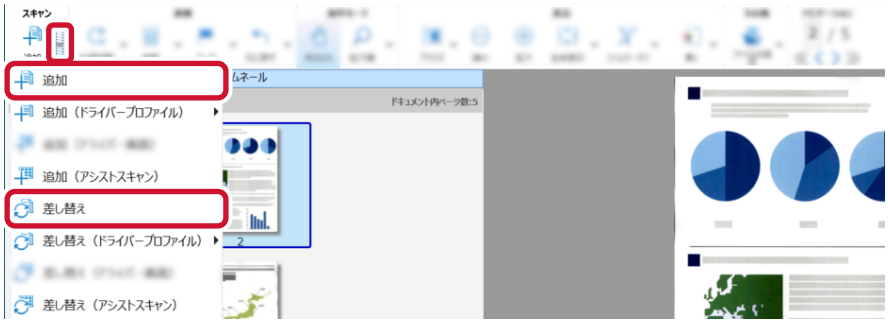

**2 ツールバーで目的のアイコンをクリックします。**

表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

**追加または差し替える画像を、新たに読み取る場合**

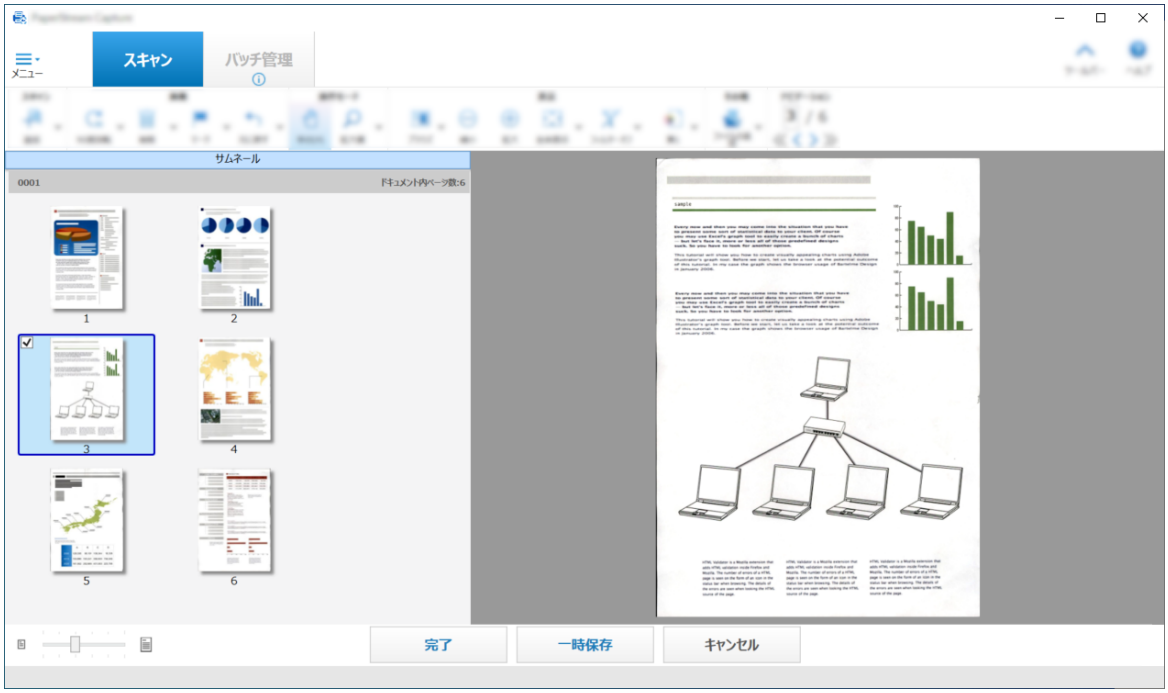
追加または差し替える原稿をスキャナーにセットします。

ツールバーの「追加」の右側にある▼をクリックして、「追加」または「差し替え」をクリックすると、原稿の読み取りが開始されます。



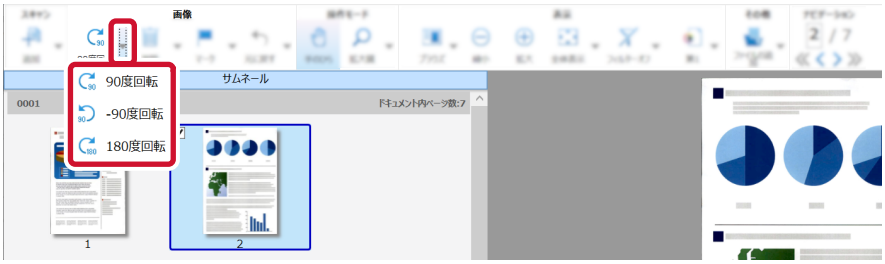

「追加」をクリックした場合は、選択したページのあとに画像が追加されます。

「差し替え」をクリックした場合は、選択したページが削除され画像が挿入されます。



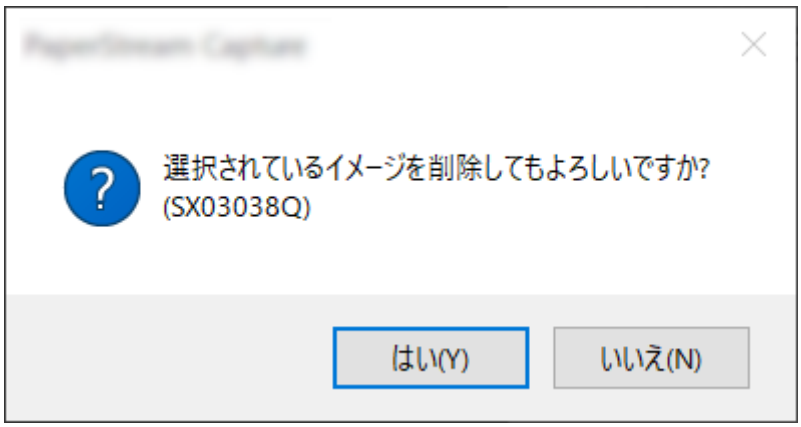

**選択したページを回転する場合**

ツールバーの「90 度回転」の右側にある▼をクリックして、「90 度回転」、「-90 度回転」または「180 度回転」をクリックすると、選択したページが回転されます。



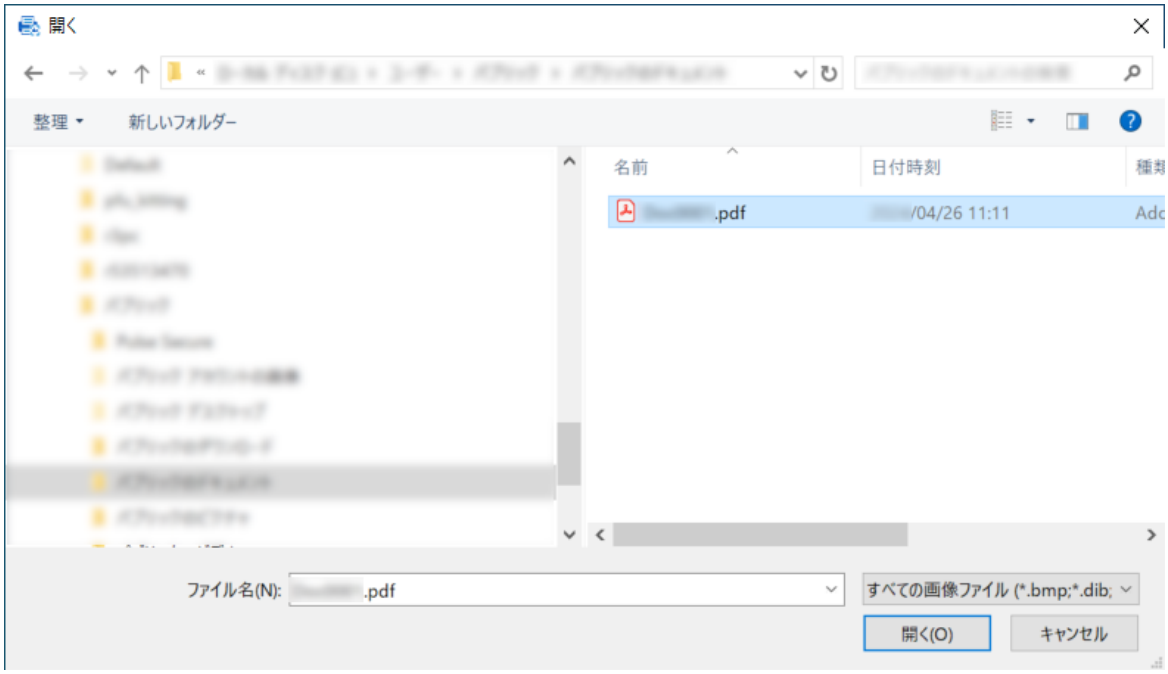

**選択したページを削除する場合**

ツールバーの「削除」アイコンをクリックすると、以下のメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、選択したページが削除されます。



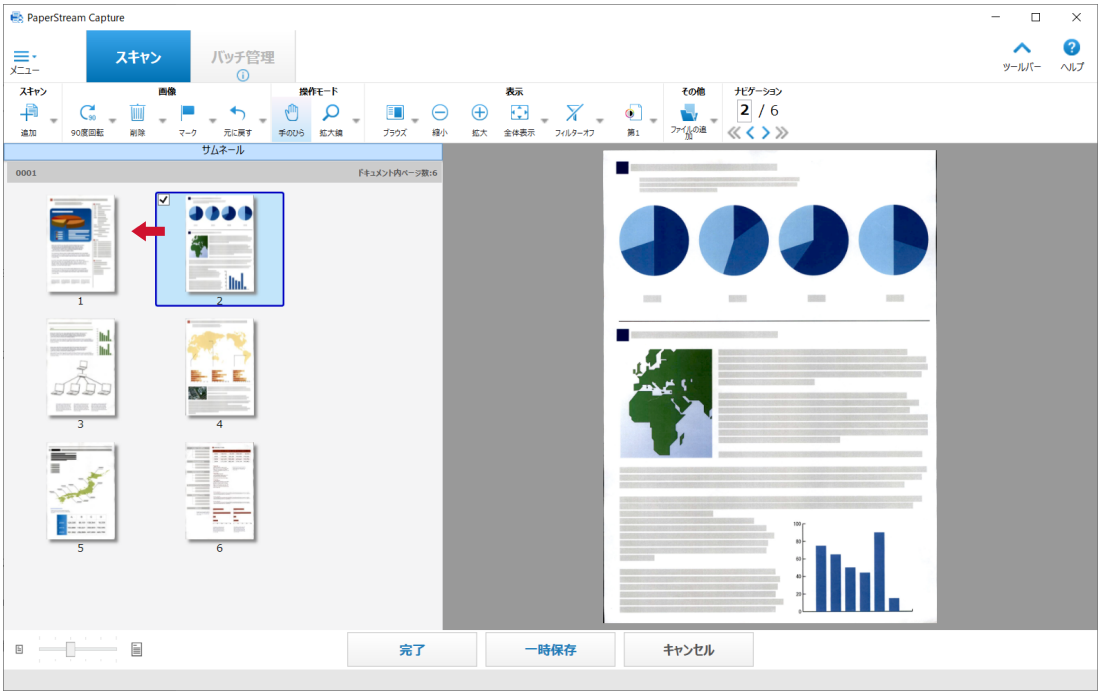
### 追加または差し替える画像を、保存済み画像から選択する場合

ツールバーの「ファイルの追加」をクリックすると、追加するファイルを選択する画面が表示されます。対象のファイルを選択して［開く］ボタンをクリックすると、選択したページのあとに画像が追加されます。

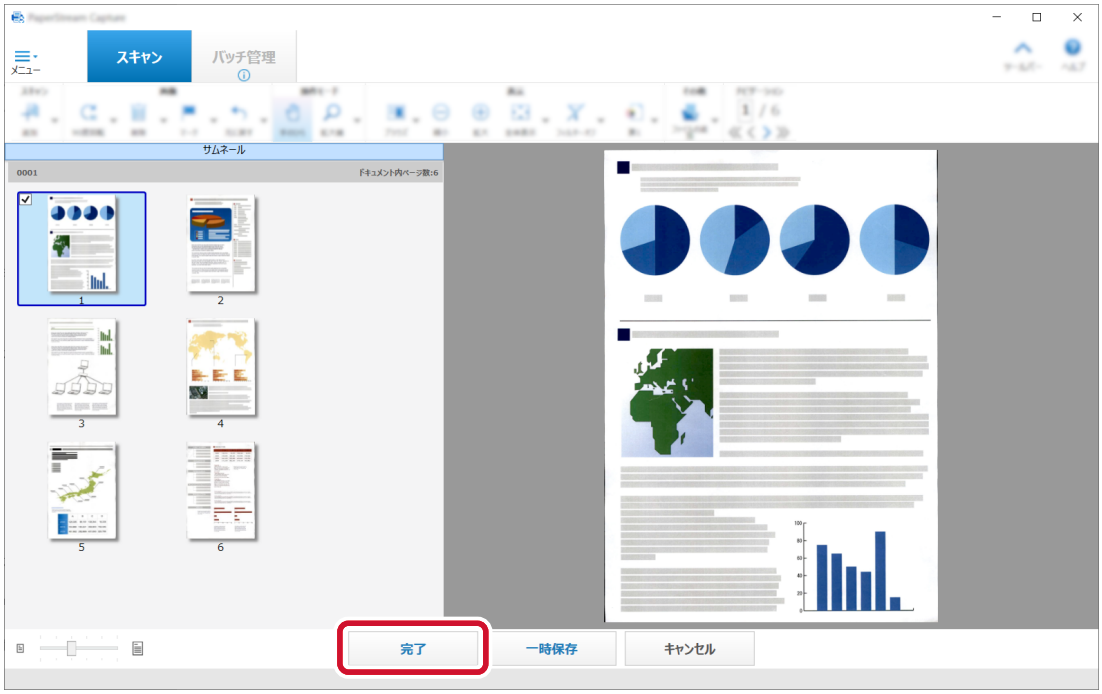



### 読み取ったページを並べ替える場合

サムネール上で選択したページをマウスでクリックしたまま、移動したい場所へドラッグ&ドロップして並べ替えます。



**3** **編集が終わったら、[完了] ボタンをクリックします。**



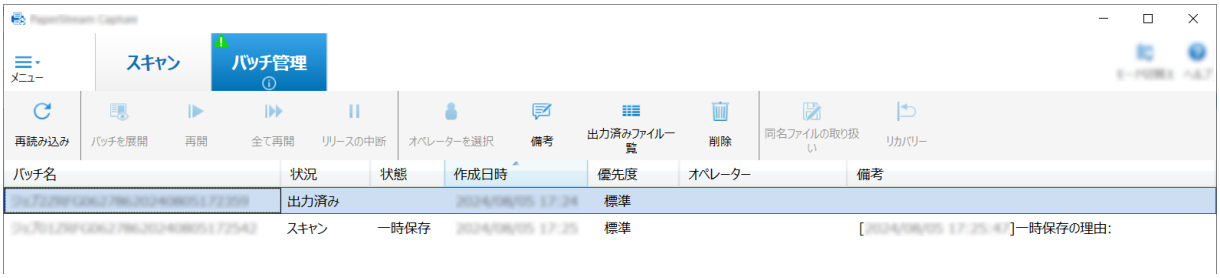
# 第 6 章
# 読み取りの履歴を確認する

「バッチ管理」画面で、実行したバッチの履歴を確認したり、一時保存したバッチや手動で中断したバッチ、またはエラーとなったバッチを再開したりできます。

**1 メニューの［バッチ管理］ボタンをクリックします。**



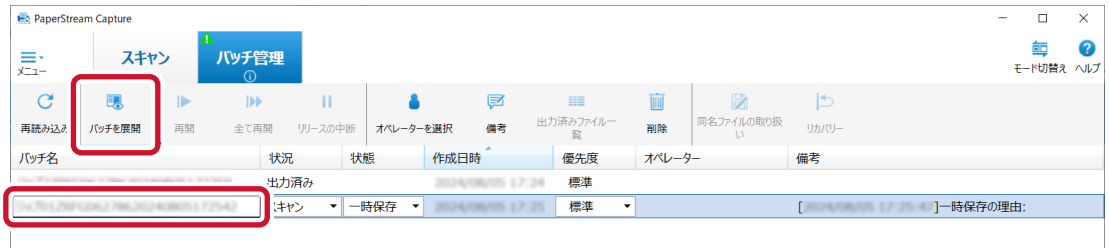

「バッチ管理」画面が表示されます。




「状態」に以下が表示されている場合は、バッチを再開できます。

| 表示 | バッチの状態 |
|---|---|
| 一時保存 | 一時保存したバッチ |
| 中断 | 手動で中断したバッチ |
| エラー | エラーにより中断されたバッチ<br>中断の原因がエラーの場合、「備考」にエラーの情報が表示されます。<br>エラーの内容を確認して、エラーを取り除いてください。 |

**2 再開するバッチのバッチ名を選択して、ツールバーの「バッチを展開」をクリックします。**




「一時保存」または「エラー」の場合は、再開するバッチが表示されます。
「中断」の場合は、出力処理が再開されます。

# 第 7 章
# 便利な設定に変更する

PaperStream Capture の便利な機能について、ジョブの設定方法を説明します。

## 7.1 スキャナーのボタンで原稿を読み取る

スキャナーのボタン（Scan および Send to）を使用して、原稿を読み取ります。

**重要**

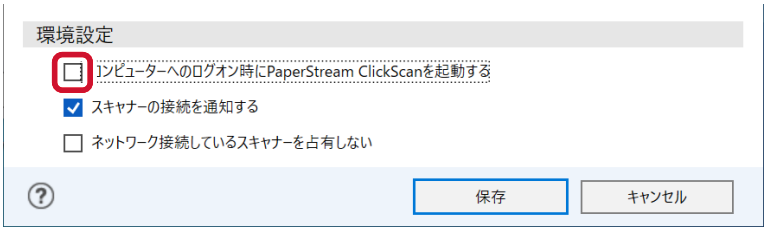
- PaperStream ClickScan が起動している場合は、スキャナーのスキャンボタンを押すと PaperStream ClickScan での読み取りが実行されます。PaperStream Capture を使ってスキャナーのスキャンボタンでの読み取りを実行する場合は、タスク バーにある PaperStream ClickScan のアイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューで以下のどちらかの操作をしてください。

  - PaperStream ClickScan の自動起動を解除する場合

    1 「出力先の管理」を選択します。

    2 表示された画面の右上にある をクリックします。

    3 表示された「管理者設定」画面で、「コンピューターへのログオン時に PaperStream ClickScan を起動する」 チェックボックスのチェックを外します。




    4 [保存] ボタンをクリックします。

    5 コンピューターからログオフして、再度ログオンします。

  - 一時的に PaperStream ClickScan を終了させる場合

    1 「終了」 を選択してください。

PaperStream Capture 側、コンピューター側、スキャナー側のそれぞれで設定が必要です。

### 7.1.1 PaperStream Capture 側の設定

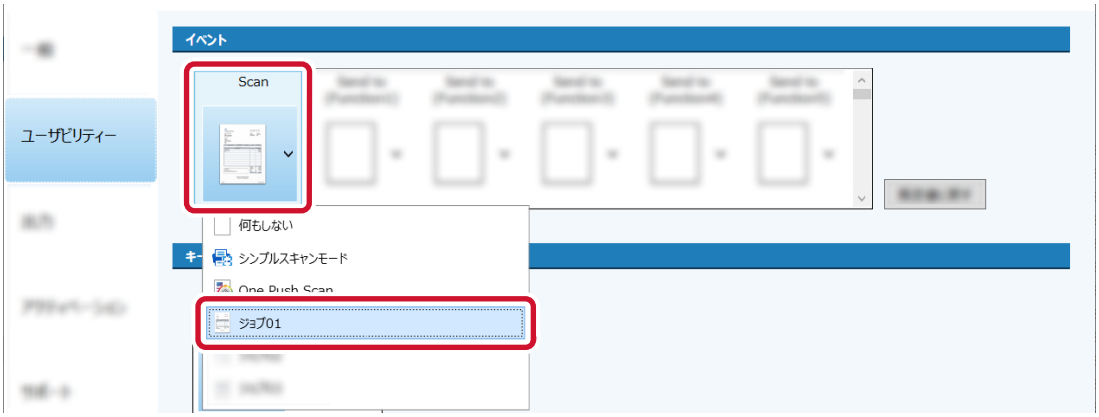
**1 メニューの から「管理ツール」を選択します。**




「PaperStream Capture 管理ツール」画面が表示されます。

**2 「ユーザビリティー」タブをクリックします。**

**3 「Scan」をクリックし、使用するジョブ名を選択します。**




「Scan」アイコンが、選択したジョブのアイコンに切り替わります。

**4 設定を保存します。**

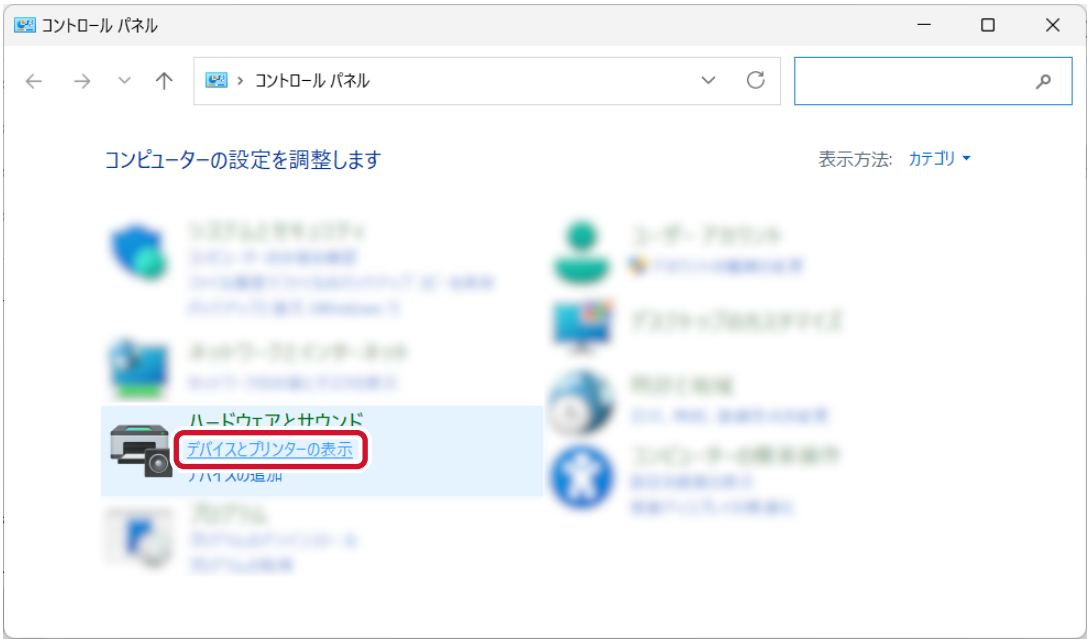
**a ［保存］ボタンをクリックします。**

**b ［閉じる］ボタンをクリックします。**

PaperStream Capture 側の設定が完了しました。

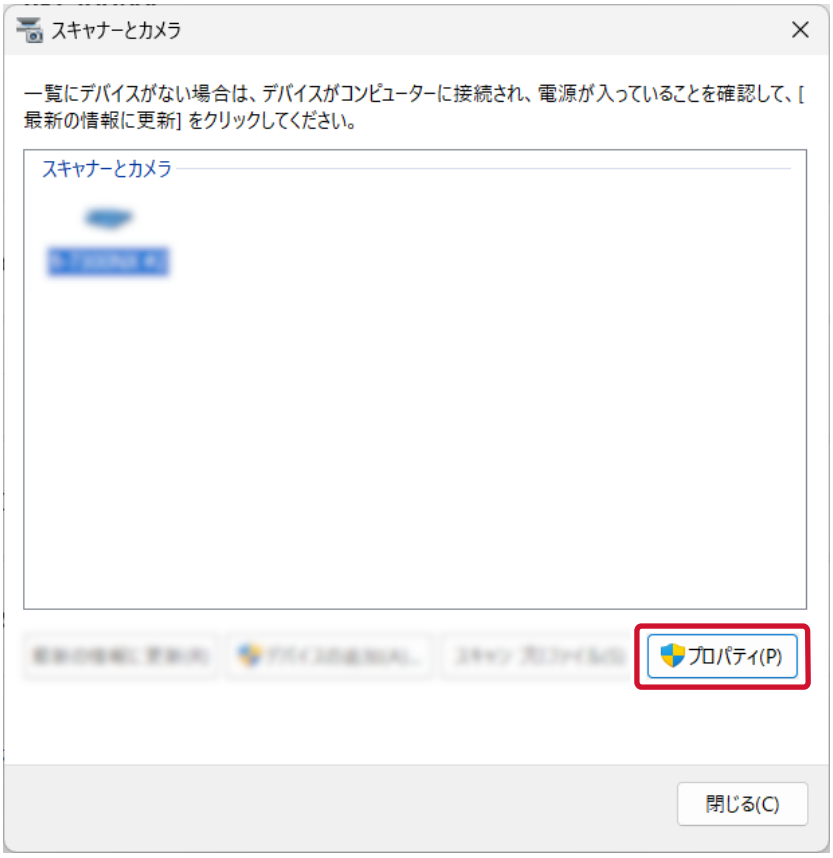
### 7.1.2 コンピューター側の設定

1 「コントロールパネル」画面を開き、「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。



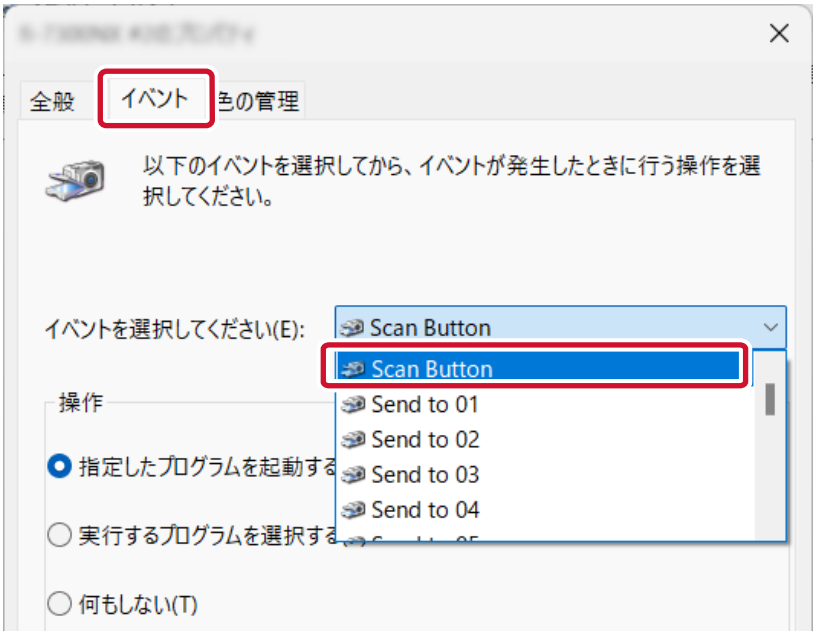

2 「プリンターとスキャナー」をクリックし、お使いのスキャナーをクリックします。

3 「スキャナーのプロパティ」をクリックし、「スキャナーとカメラ」画面で［プロパティ］ボタンをクリックします。

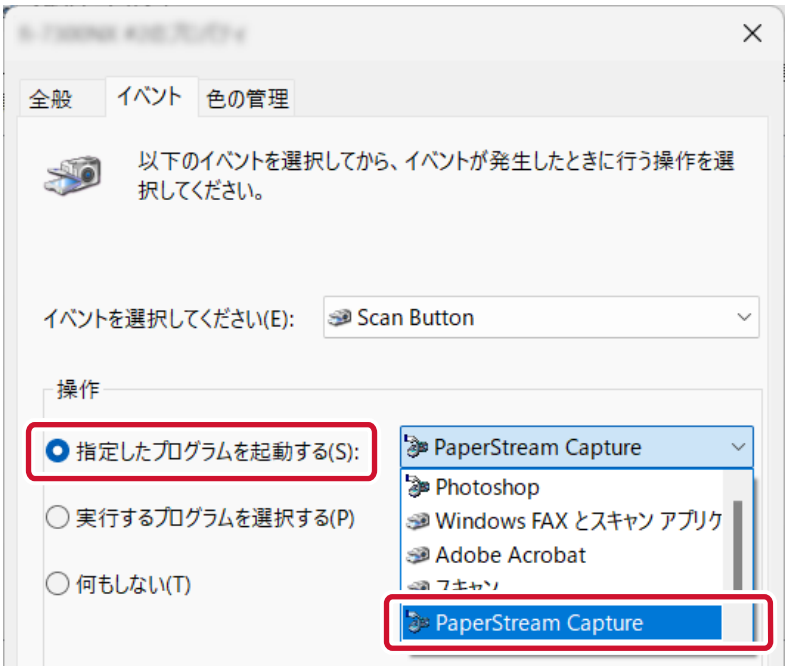


**4 「イベント」タブで、スキャナーのスキャンボタンを押したときの動作を設定します。**

**a 「イベント」タブで、「イベントを選択してください」から「Scan Button」を選択します。**




**b 「指定したプログラムを起動する」を選択して、「PaperStream Capture」を選択します。**




**c [OK] ボタンをクリックします。**

**5 コンピューターを再起動します。**

変更した設定が有効になります。コンピューター側の設定が完了しました。

**ヒント**

- ネットワーク対応のスキャナーをネットワークに接続して使用する場合は、Network Setup Tool をインストールしたあと、コンピューターに再度ログオンするか再起動してください。再起動しても、PaperStream Capture がスキャナーのボタンを押したときに起動するアプリケーションとして設定されない場合は、お使いのスキャナーの Button Event Manager を起動し、「ボタン設定」画面で設定してください。詳細は、Network Setup Tool のヘルプを参照してください。

### 7.1.3 スキャナー側の設定

スキャナーのスキャンボタンを押したときの動作を、スキャナー側でも設定する場合があります。
お使いのスキャナーの機種により設定方法が異なります。
詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドで、スキャナーのスキャンボタンの設定に関する記事を参照してください。

## 7.2 画像の解像度の設定を変更する こだわり作成

読み取った画像を確認して、読みづらかったり見づらかったりする場合に、読み取りの解像度を変更できます。
解像度の数値を低くするとファイルサイズは小さくなり、高くするとファイルサイズは大きくなります。
ここでは、こだわり作成の場合に、PaperStream Capture では設定できない解像度に変更する場合の手順を説明します。

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

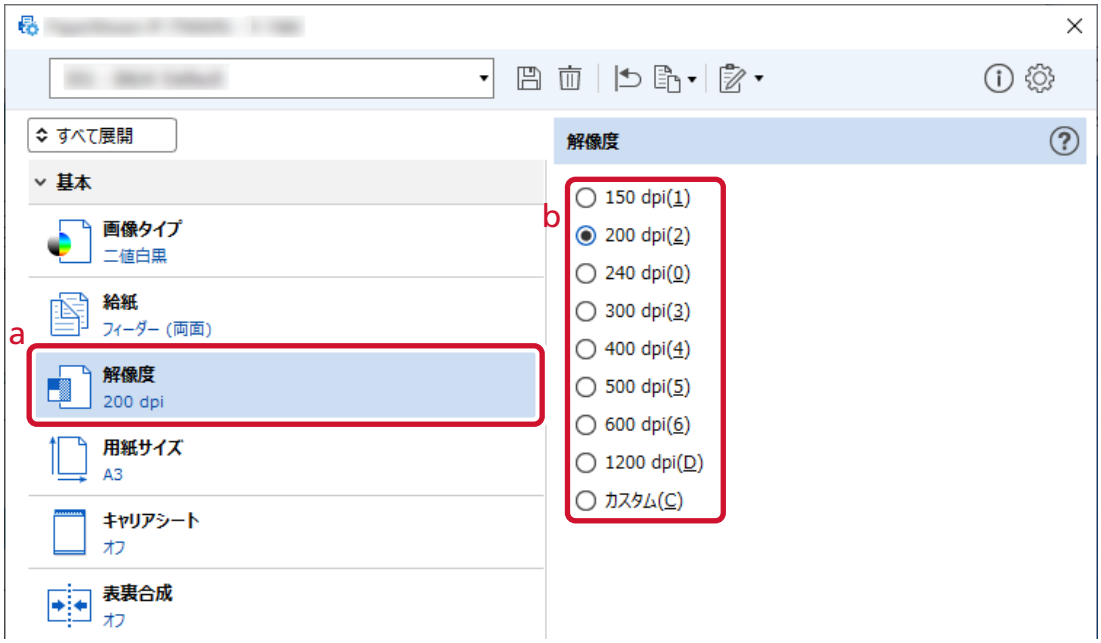
**2 「読み取り設定」タブを選択して、［詳細設定］ボタンをクリックします。**




**3 PaperStream IP ドライバーの詳細設定画面で「基本」を選択し、読み取り内容を設定します。**

**a 「解像度」を選択します。**

**b 変更する解像度を選択します。**

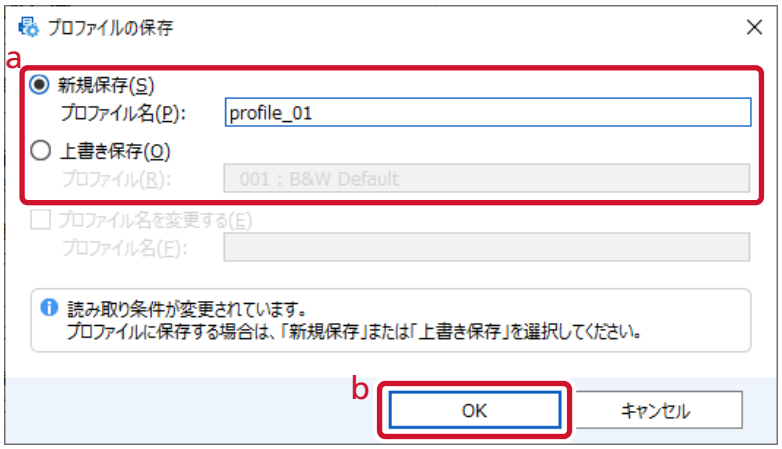



**4 保存アイコン（ ）をクリックします。**

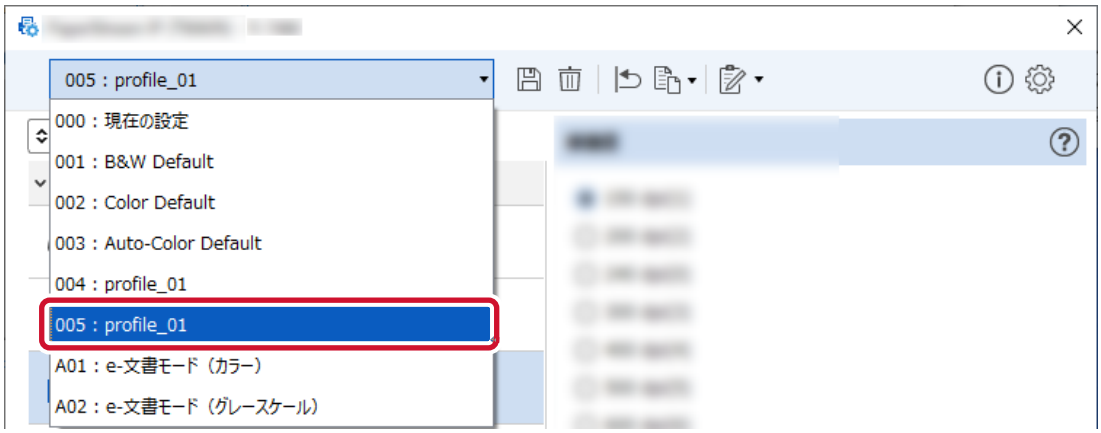
**5 ドライバープロファイルを保存します。**

**a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。**

**b ［OK］ボタンをクリックします。**



**6 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認します。**




**7 ［OK］ボタンをクリックします。**

PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

**8 ［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**9 ［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.3 原稿の白紙ページを自動で削除する

原稿を読み取って白紙ページを検出した場合、白紙ページを自動で削除できます。

### 7.3.1 かんたん作成の場合 かんたん作成

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

**2 「読み取り設定」タブを選択します。**

**3 「読み取り設定」の「白紙削除」で「有効」を選択します。**




**4 ［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**5 ［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.3.2 こだわり作成の場合 こだわり作成

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

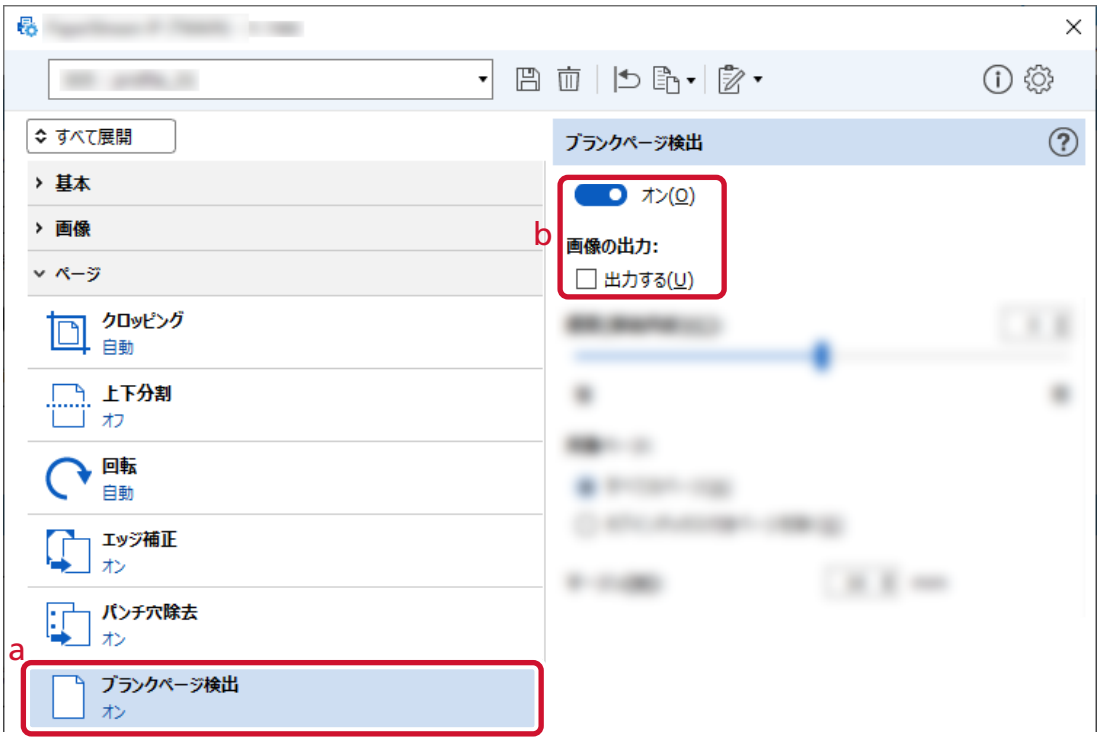
**2 「読み取り設定」タブを選択して、［詳細設定］ボタンをクリックします。**




**3 PaperStream IP ドライバーの詳細設定画面で、「ページ」を選択し、読み取り内容を設定します。**

**a 「ブランクページ検出」を選択します。**

**b 「オン」にして、「出力する」チェックボックスのチェックを外します。**

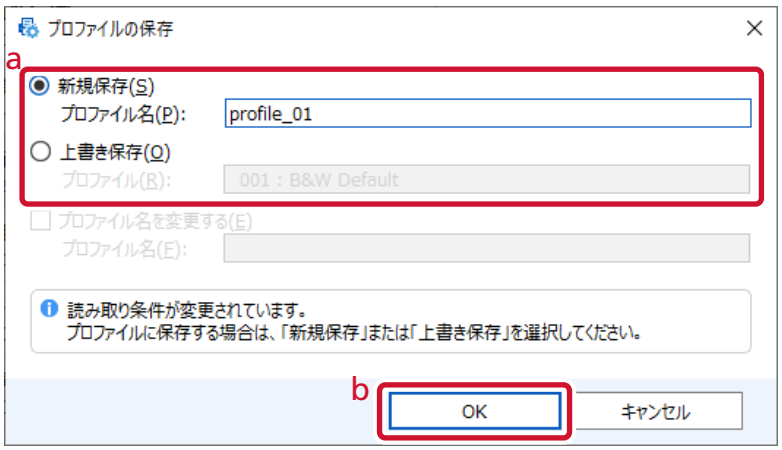



**4 保存アイコン（ ）をクリックします。**

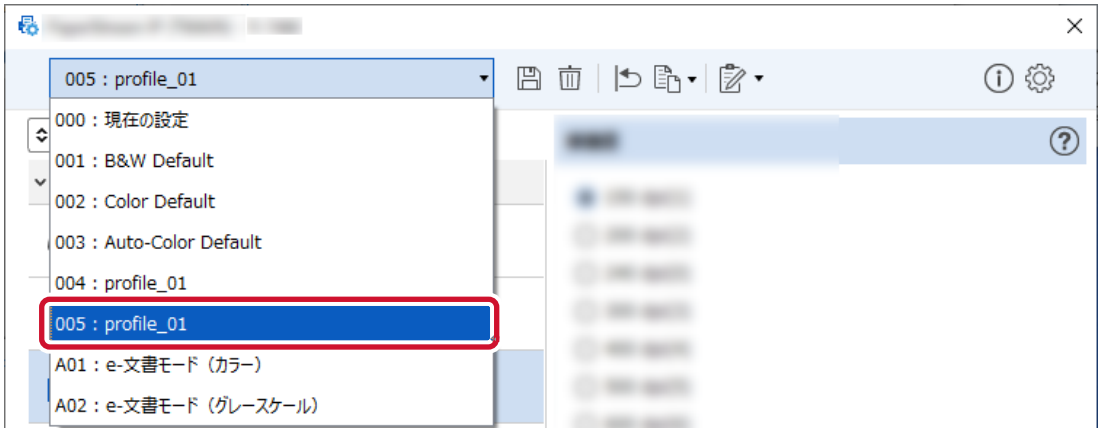
**5 ドライバープロファイルを保存します。**

**a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。**

**b ［OK］ボタンをクリックします。**




**6 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認します。**




**7 ［OK］ボタンをクリックします。**

PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

**8 ［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**9 ［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.4 原稿の色（カラー/白黒）を自動判別して出力する

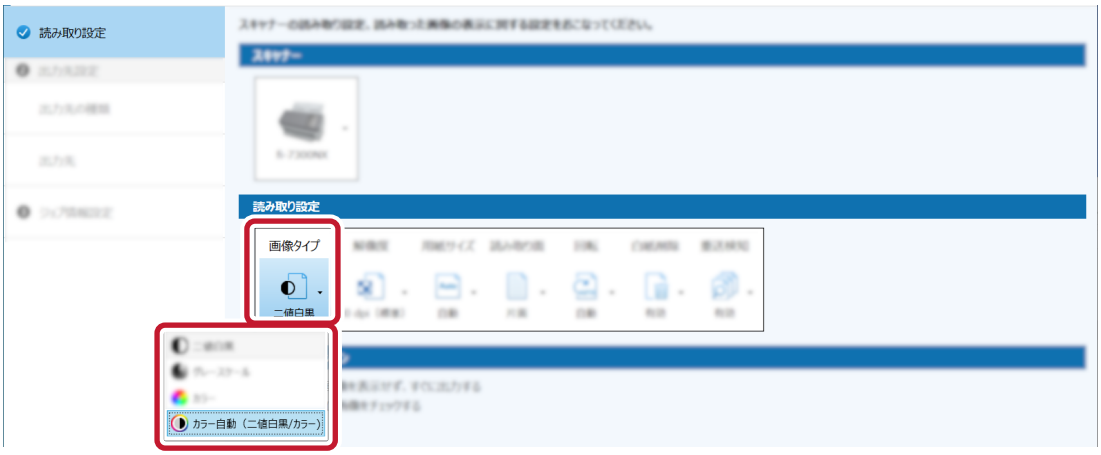
読み取った原稿がカラーかモノクロかを自動的に判別して出力できます。
カラーやモノクロの原稿が混在する場合に、原稿に応じて読み取り条件を変更する必要がありません。

### 7.4.1 かんたん作成の場合 かんたん作成

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

**2** 「読み取り設定」タブを選択します。

**3** 「読み取り設定」の「画像タイプ」で「カラー自動（二値白黒/カラー）」を選択します。




**4** ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

**5** ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.4.2 こだわり作成の場合 こだわり作成

**1** 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

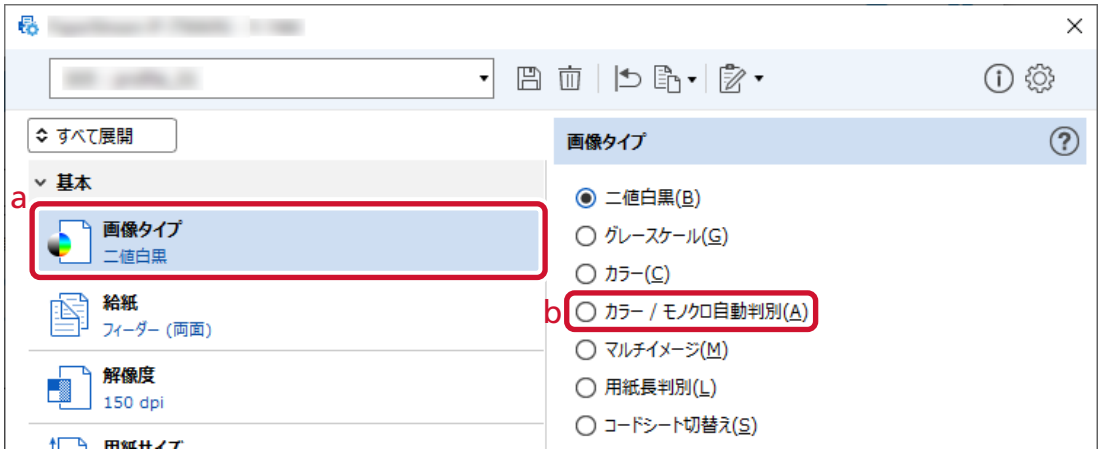
**2** 「読み取り設定」タブを選択して、［詳細設定］ボタンをクリックします。



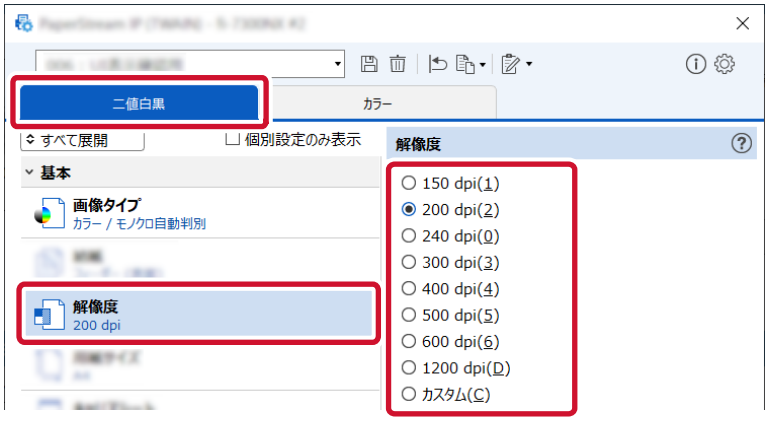

**3** PaperStream IP ドライバーの詳細設定画面で「基本」を選択し、読み取り内容を設定します。

**a** 「画像タイプ」を選択します。

b 「カラー/モノクロ自動判別」を選択します。




c タブを切り替えて、画像タイプごとに解像度を調整します。

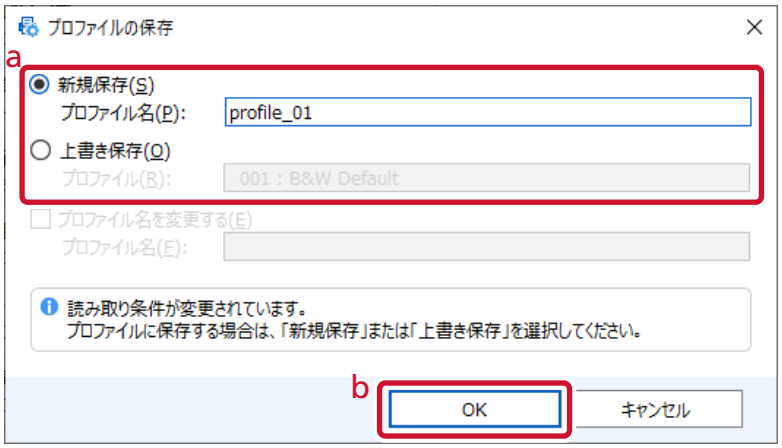



4 保存アイコン（）をクリックします。

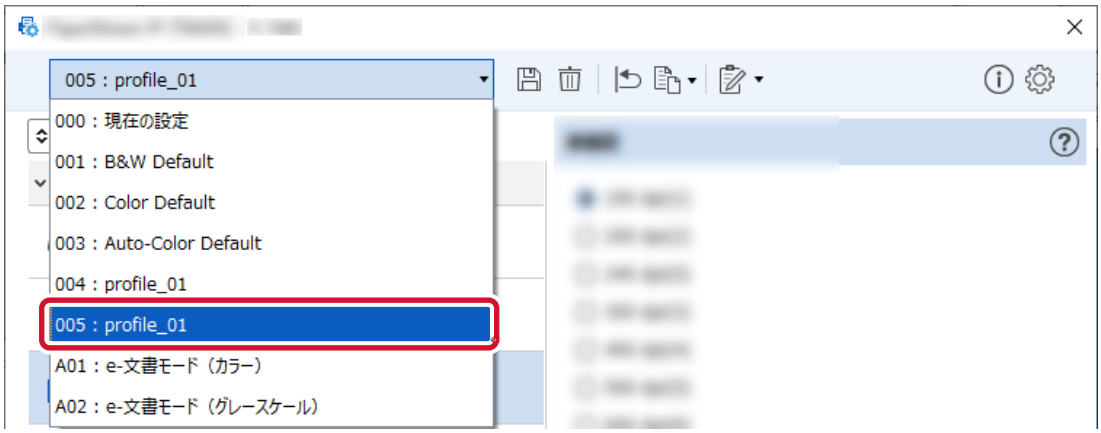
5 ドライバープロファイルを保存します。

a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。

b ［OK］ボタンをクリックします。



**6 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認します。**




**7 [OK] ボタンをクリックします。**

PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

**8 [保存] ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**9 [閉じる] ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.5 画像の向きを自動で補正する

原稿の文字から向きを自動的に判断し、正しい向きに補正して出力できます。
原稿の状態によっては、正しい向きに補正されない場合があります。

### 7.5.1 かんたん作成の場合 かんたん作成

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。**

**2 「読み取り設定」タブを選択します。**

**3 「読み取り設定」の「回転」で「自動」を選択します。**




**4 ［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**5 ［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.5.2 こだわり作成の場合 こだわり作成

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

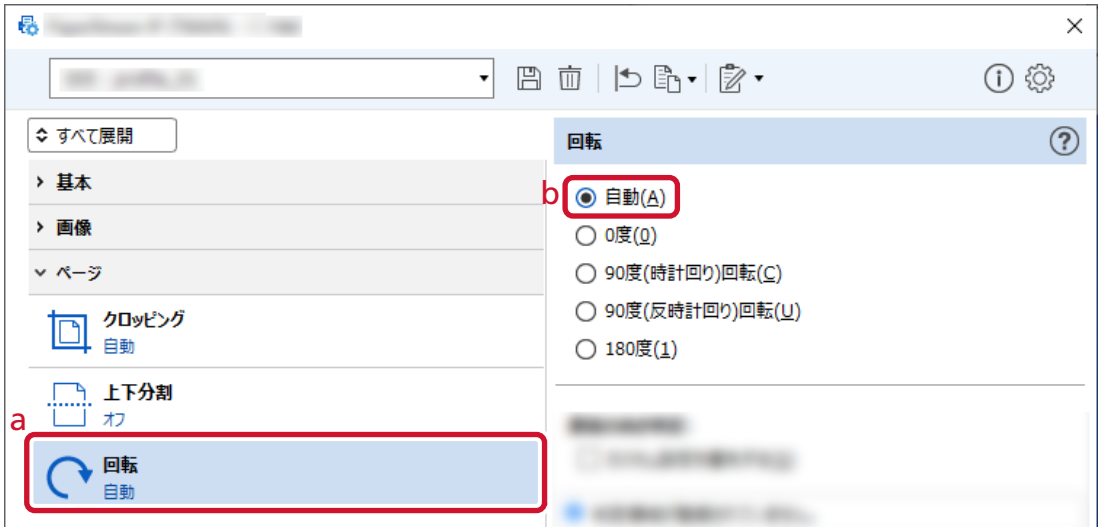
**2 「読み取り設定」タブを選択して、［詳細設定］ボタンをクリックします。**




**3 PaperStream IP ドライバーの詳細設定画面で、「ページ」を選択し、読み取り内容を設定します。**

**a 「回転」を選択します。**

**b 「自動」を選択します。**

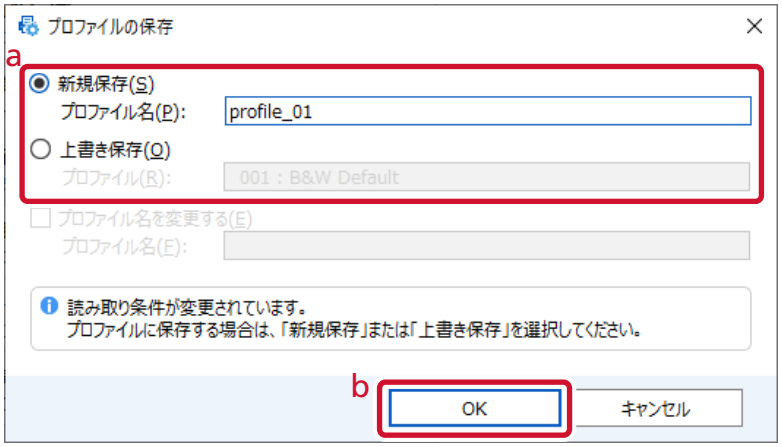



**4 保存アイコン（ ）をクリックします。**

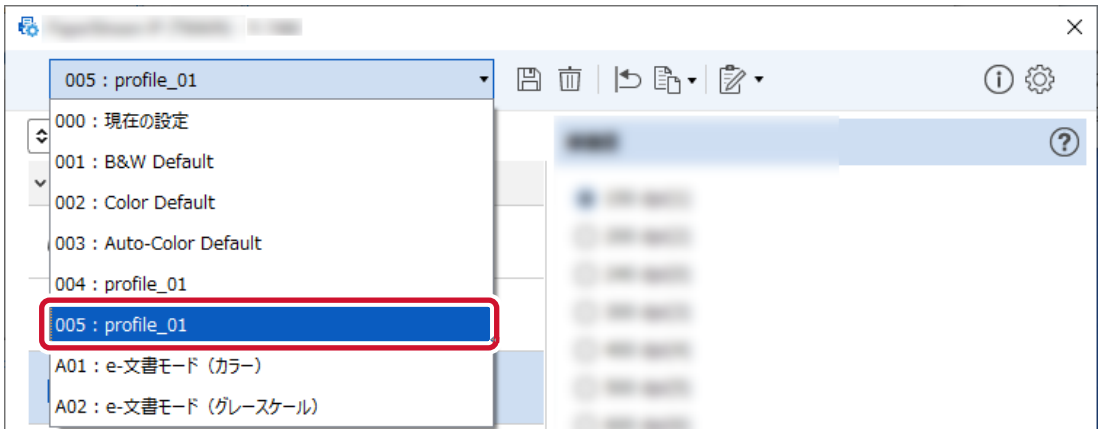
**5 ドライバープロファイルを保存します。**

**a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。**

**b ［OK］ボタンをクリックします。**



**6 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認します。**




**7 [OK] ボタンをクリックします。**

PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

**8 [保存] ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**9 [閉じる] ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.6 パンチ穴除去をオフにする こだわり作成

パンチ穴除去は、原稿にパンチ穴がある場合に画像のパンチ穴の部分を塗りつぶします。
「パンチ穴除去」を「オン」にすると、読み取り画像からパンチ穴が除去されます。原稿内の丸い図形がパンチ穴と認識され、除去されてしまう場合は、「パンチ穴除去」は「オフ」にしてください。

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。**

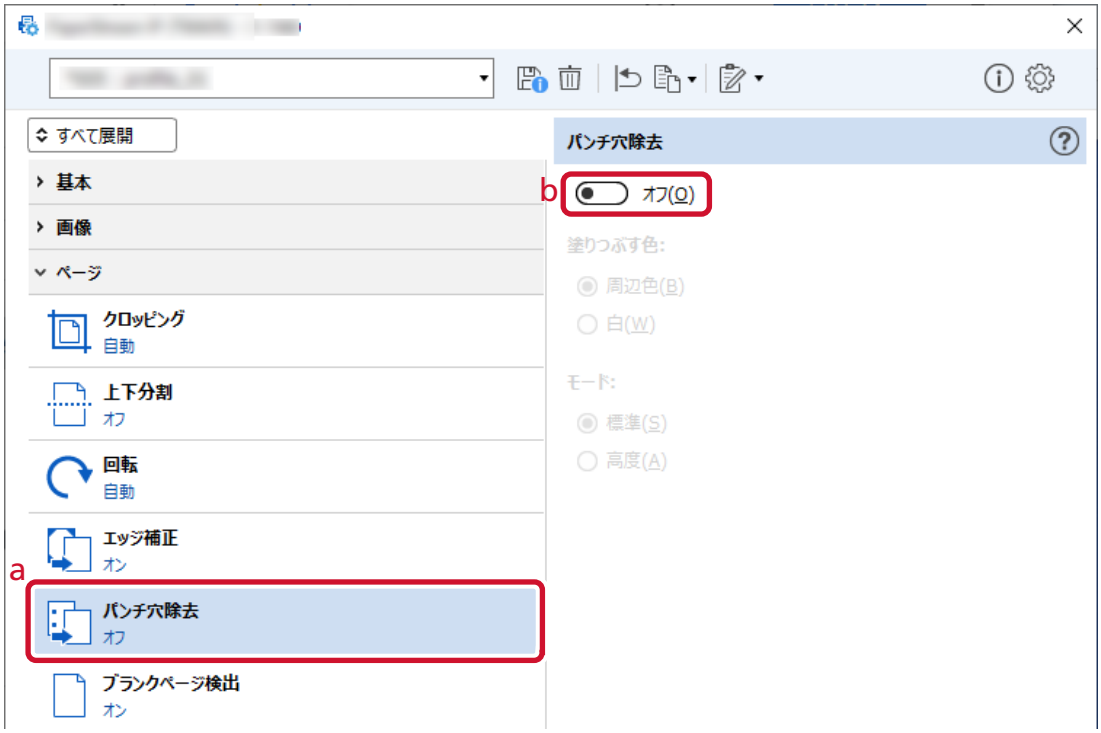
**2 「読み取り設定」タブを選択して、[詳細設定] ボタンをクリックします。**




**3 PaperStream IP ドライバーの詳細設定画面で「ページ」を選択し、読み取り内容を設定します。**

**a 「パンチ穴除去」を選択します。**

b 「オフ」を選択します。

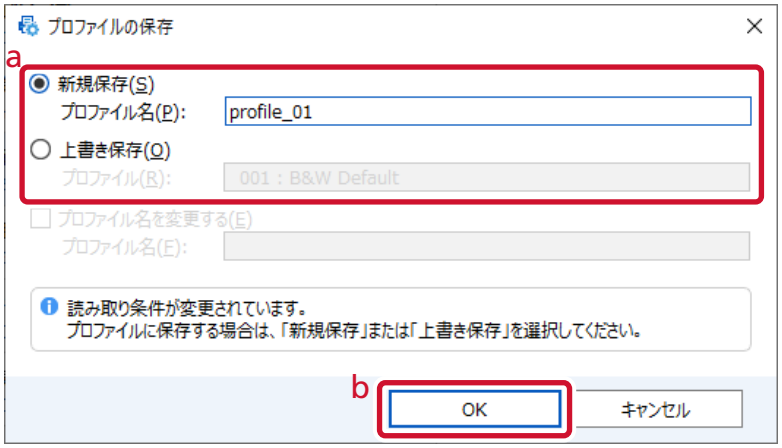



4 保存アイコン（）をクリックします。

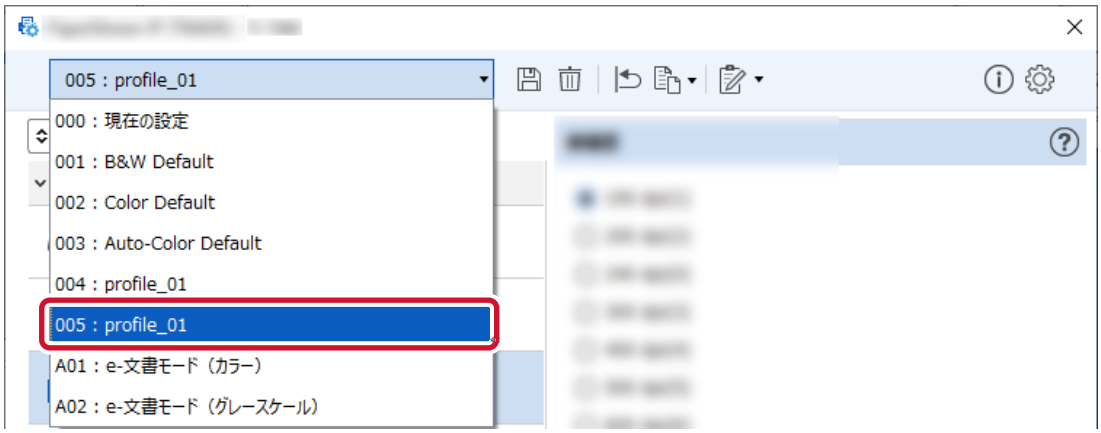
5 ドライバープロファイルを保存します。

a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。

b ［OK］ボタンをクリックします。



**6 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認します。**




**7 [OK] ボタンをクリックします。**

PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

**8 [保存] ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**9 [閉じる] ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.7 読み取り中、読み取り後の画面表示/非表示を設定する

原稿の読み取り中または読み取り後に、読み取った画像を表示させる/させないを選択できます。
以下に読み取った画像の表示/非表示、および PaperStream Capture の画面の表示/非表示を切り替える手順を説明します。

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。**

**2 「読み取り設定」タブの設定を変更します。**

- かんたん作成の場合 

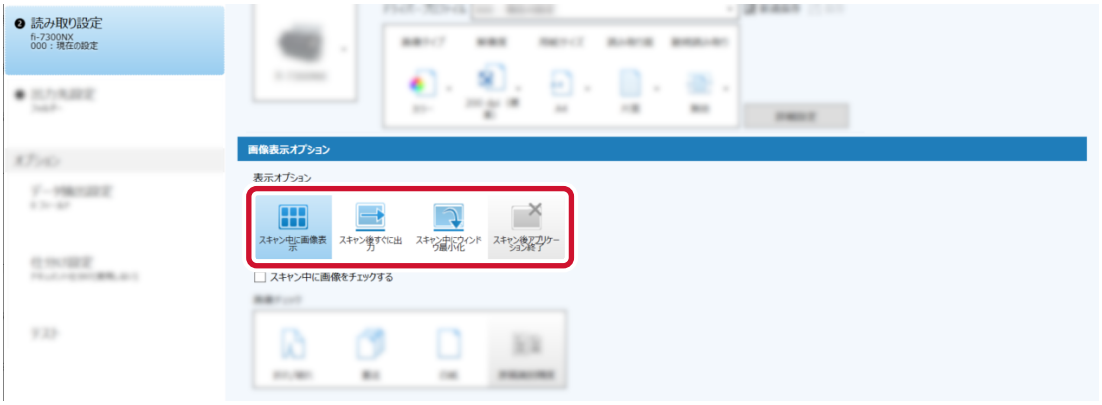

  「画像表示オプション」の「読み取った画像を表示せず、すぐに出力する」チェックボックスにチェックを付けると、読み取った画像を表示せずに、「出力先設定」タブの「出力先」で設定した出力先に、読み取った画像を自動で出力します。

チェックを外すと、読み取り開始時から、読み取った画像を表示します。画像を確認 / 編集する画面で［完了］ボタンをクリックすると、読み取った画像をファイルに保存します。




- こだわり作成の場合 


「画像表示オプション」の「表示オプション」で、設定する項目をクリックします。




| 選択項目 | 動作内容 |
|---|---|
| スキャン中に画像表示 | デフォルト値です。<br>読み取り開始時から、読み取った画像を表示します。<br>画像を確認 / 編集する画面で［完了］ボタンをクリックすると、読み取った画像をファイルに保存します。 |
| スキャン後すぐに出力 | ［完了］ボタンをクリックすることなく、読み取った画像をファイルに保存します。 |
| スキャン中にウィンドウ最小化 | 読み取り開始以降、画像を確認 / 編集する画面を最小化します。 |
| スキャン後すぐに出力<br>スキャン中にウィンドウ最小化<br>スキャン後アプリケーション終了 | 読み取り中は画像を確認 / 編集する画面を最小化し、読み取った画像をファイルに保存して、PaperStream Capture を終了します。<br>この 3 項目を選択し、スキャナーのボタンで原稿を読み取る設定と組み合わせると、コンピューターに PaperStream Capture の画面を表示せずに、読み取った画像をファイルに保存して、PaperStream Capture を終了します。 |

**3 ［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**4 ［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.8 読み取り中に画像を確認する

バッチスキャンモードでは、原稿の読み取り中に読み取りが完了した画像を確認して、画像にマークを付けることができます。
以下にジョブの設定手順と読み取り中に画像を確認する手順を説明します。

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

**2 「読み取り設定」タブの設定を変更します。**

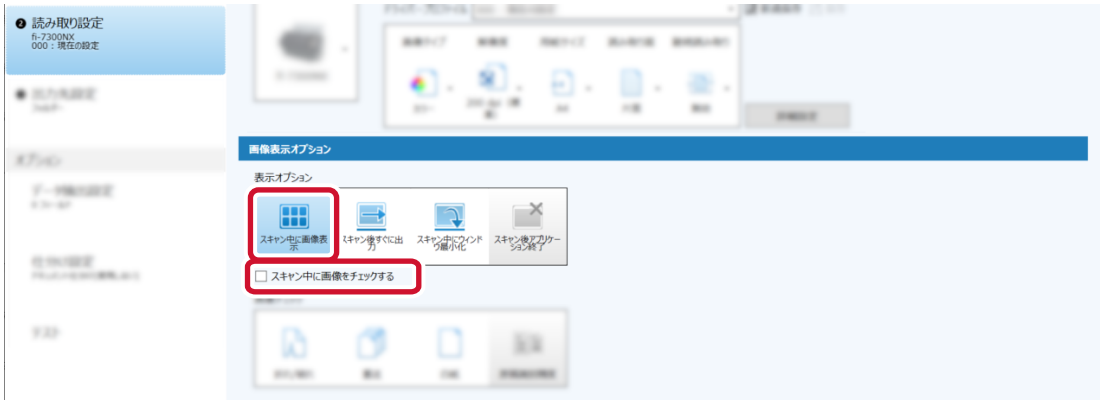
- かんたん作成の場合 


「画像表示オプション」の「読み取り中に画像をチェックする」チェックボックスにチェックを付けます。




- こだわり作成の場合 


「画像表示オプション」の「表示オプション」で「スキャン中に画像表示」を選択して、「スキャン中に画像をチェックする」チェックボックスにチェックを付けます。



**3 [保存] ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**4 [閉じる] ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

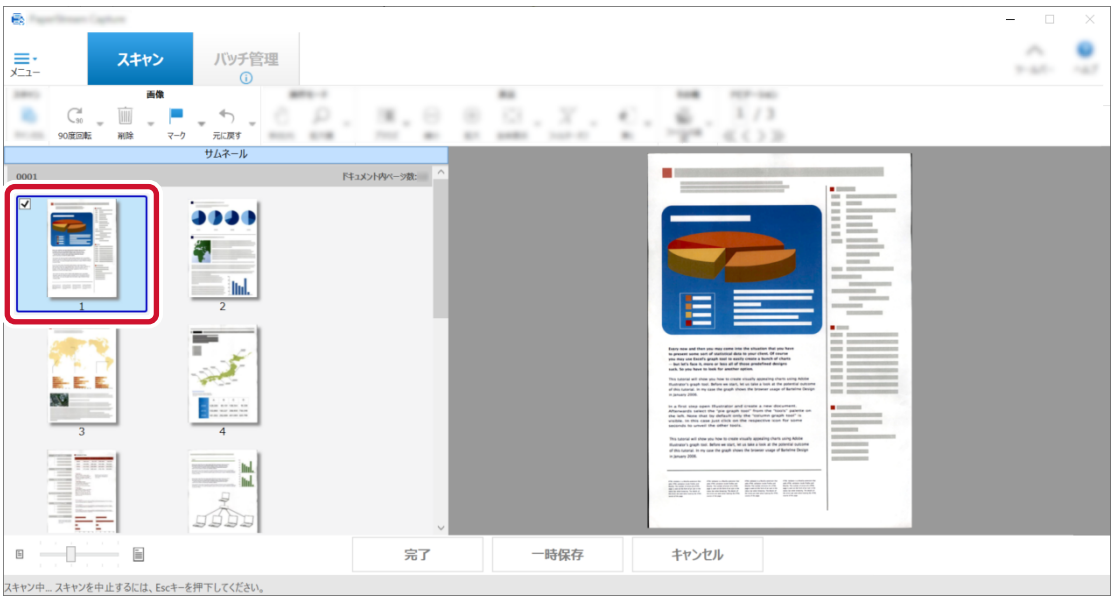
**5 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

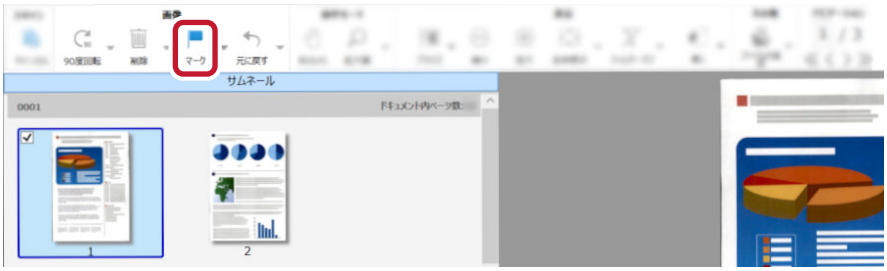
**6 原稿を読み取ります。**

➡ 第 5 章 原稿を読み取る (21 ページ)

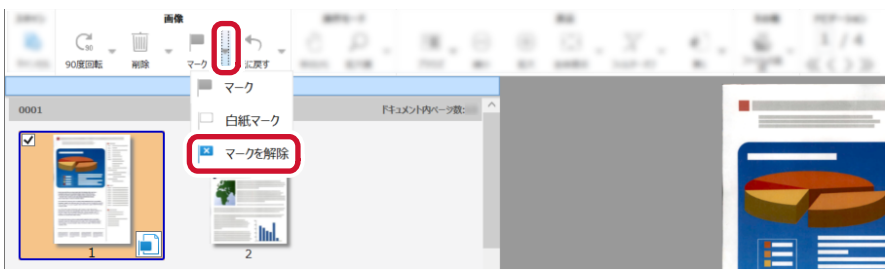
**7 原稿の読み取り中に、サムネールで確認する画像のページを選択して、ビューアーに表示された画像を確認します。**




**8 サムネールにマークを付ける場合は、ツールバーの「マーク」をクリックします。**




- マークを削除する場合は、ツールバーの「マークを解除」をクリックしてください。



- 白紙のサムネールにマークを付ける場合は、白紙のサムネールを選択して、「白紙マーク」をクリックしてください。

## 7.9 画像のファイルサイズを設定する

読み取った画像を PDF、JPEG、または TIFF 形式で出力する場合に、ファイルサイズを調整できます。
JPEG 画像または TIFF 画像の場合は、画像の種類が「グレースケール」または「カラー」のときだけ、調整できます。

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

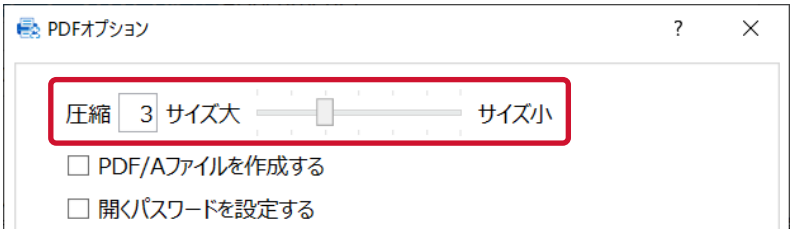
**2 「出力先設定」タブの設定を変更します。**

- かんたん作成の場合 


**a** 「出力先」を選択して、「ファイルプロパティ」の［その他の設定］ボタンまたは［オプション設定］ボタンをクリックします。




**b** スライダーでサイズを指定します。
ファイルサイズを小さくするほど画像の劣化が目立つようになりますが、ファイルサイズを小さくできます。
以下はファイル形式が PDF の場合の例です。



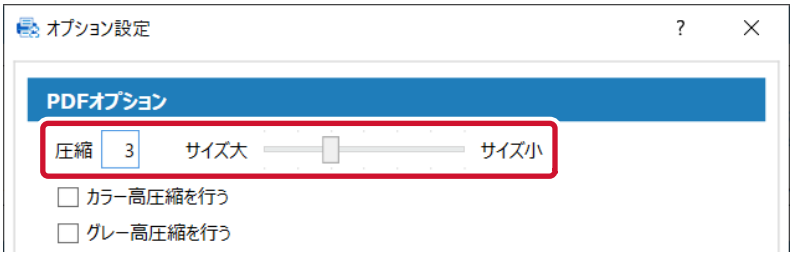

**c** ［OK］ボタンをクリックします。
「出力先」に戻ります。

- こだわり作成の場合 

a 「ファイルプロパティ」の［オプション設定］ボタンをクリックします。




b スライダーでサイズを指定します。
ファイルサイズを小さくするほど画像の劣化が目立つようになりますが、ファイルサイズを小さくできます。
以下はファイル形式が PDF の場合の例です。




c ［OK］ボタンをクリックします。
「出力先設定」タブに戻ります。

**3 ［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**4 ［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.10 画像を文字の検索ができる PDF ファイルにする

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

**2 「出力先設定」タブの設定を変更します。**

- かんたん作成の場合 かんたん作成

a 「出力先」を選択します。

b ファイル形式で PDF を選択します。

**c** 「検索可能な PDF を作成する」チェックボックスにチェックを付けて、言語を選択します。



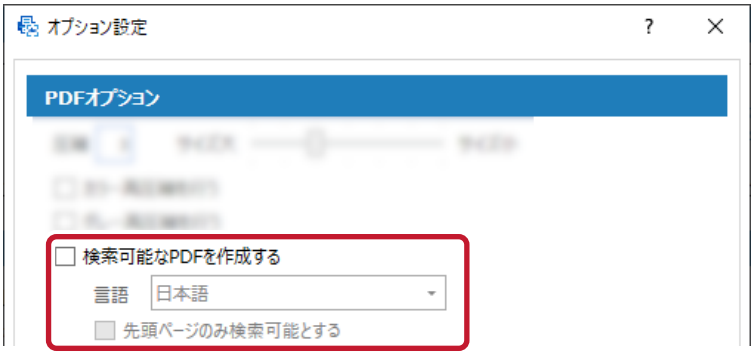

- こだわり作成の場合 こだわり作成

**a** ファイル形式で PDF を選択します。

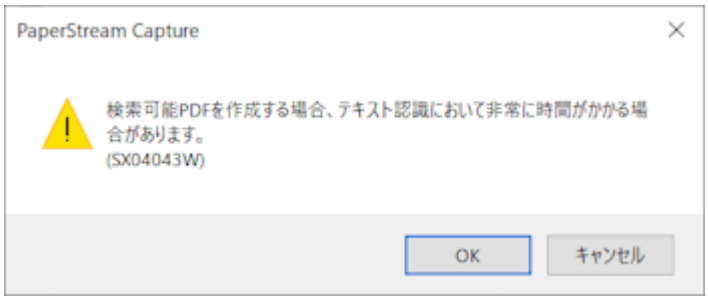
**b** ［オプション設定］ボタンをクリックします。




**c** 「検索可能な PDF を作成する」チェックボックスにチェックを付けて、言語を選択します。




以下のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックしてください。




**d** ［OK］ボタンをクリックします。
「出力先設定」タブに戻ります。

**3 ［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**4 ［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.11 画像のファイル名に連番を付ける

画像のファイル名に連番を付ける設定にすると、ファイル名の重複を防ぐことができます。

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

**2 「カウンターオプション」画面を開きます。**

- かんたん作成の場合 


  **a** 「出力先設定」タブの「出力先」を選択して、［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。

  **b** 「ファイル名オプション」画面で、［カウンターオプション］ボタンをクリックします。

- こだわり作成の場合 


  「出力先設定」タブを選択して、［カウンターオプション］ボタンをクリックします。

**3 カウンターおよびファイル名の付与方法を検討します。**

各カウンターの動作は以下です。

| カウンター名 | 動作 |
|---|---|
| ドキュメントカウンター | 1 回の読み取りの単位で 1 ドキュメントとなり、カウント値に 1 を足します。<br>1 回の読み取りで仕分けがある場合、分割された単位で 1 ドキュメントとなります。 |
| シートカウンター | 読み取った原稿 1 枚が 1 シートとなり、1 シート読み取るごとに、カウント値に 1 を足します。 |
| ページカウンター | 読み取った原稿の面が 1 ページとなり、1 ページ読み取るごとに、カウント値に 1 を足します。 |

- 任意の文字＋（シートカウンター）＋ページカウンター

  1 ページまたは 1 シート（片面）を 1 ファイルで保存する、以下のファイル形式を選択した場合によく使われる付与方法です。

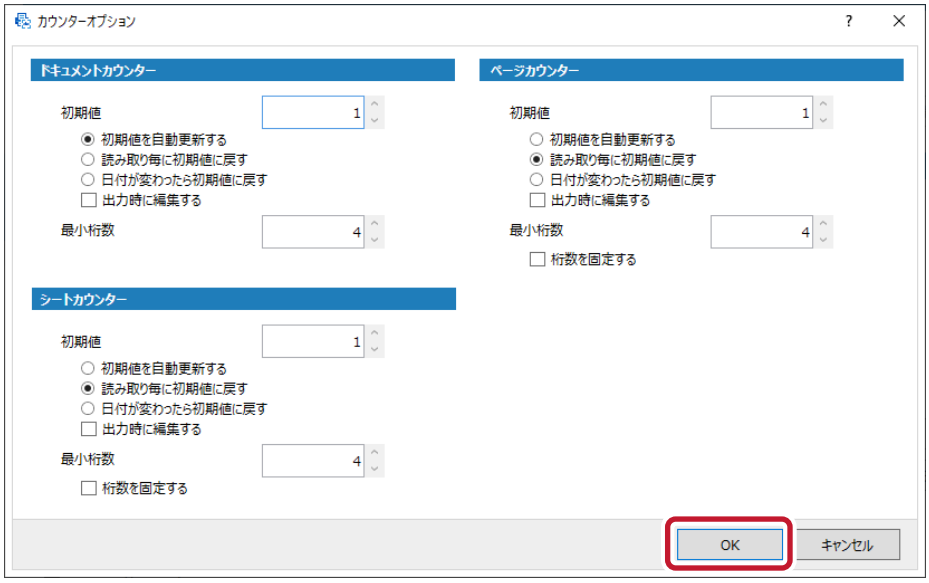
  - Windows Bitmap
  - Tagged Image File Format
  - JPEG2000 File
  - JPEG File

- SinglePage PDF File
- SinglePage PDF/A File
- Portable Network Graphics

● 任意の文字＋ドキュメントカウンター
複数ページを 1 つのファイルにまとめて保存する、以下のファイル形式を選択した場合によく使われる付与方法です。

- MultiPage Tagged Image File Format
- PDF File
- PDF/A File
- リッチテキスト形式
- Word 文書
- Excel 文書
- PowerPoint 文書

**4 使用するカウンターの項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。**




「出力先設定」タブに戻ります。

**5 ［保存］ボタンをクリックします。**
ジョブの設定が保存されます。

**6 ［閉じる］ボタンをクリックします。**
「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.12 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する こだわり作成

抽出データを設定すると、原稿に記載された以下の情報を読み取って、認識した文字列をファイル名やフォルダー名として活用したり、インデックス情報として出力したりできます。

- ゾーン OCR
- バーコード
- パスポート
  （MRZ 上段、MRZ 下段、発行国、姓、名、旅券番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、個人番号）
- ID カード(TD1)
  （MRZ 上段、MRZ 中段、MRZ 下段、発行国、文書番号、発行国拡張情報上段、生年月日、性別、有効期間満了日、国籍、発行国拡張情報中段、姓、名）
- ID カード(TD2)
  （MRZ 上段、MRZ 下段、発行国、姓、名、文書番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、拡張情報）

ここではこだわり作成で、文字列またはバーコードの情報を読み取る手順を説明します。

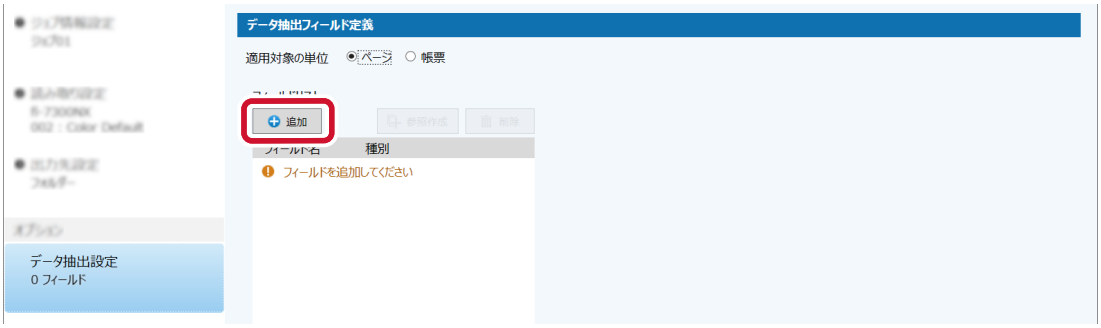
**1 検出する文字列やバーコードを印刷した原稿を用意します。**

**2 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

**3 「データ抽出設定」タブを選択します。**

**4 「適用対象の単位」で「ページ」を選択します。**

**5 「フィールドリスト」の「追加」をクリックします。**




**6 フィールド属性を設定します。**

- 文字列を読み取る場合

  **a** 「フィールド名」を入力します。

  **b** 「種別」で「ゾーン OCR」を選択します。

  **c** 使用する言語を「言語」のドロップダウンリストから選択します。

  **d** ［エリアを定義 >>］ボタンをクリックします。



- バーコード/QR コードを読み取る場合

  **a** 「フィールド名」を入力します。

  **b** 「種別」で「バーコード」を選択します。

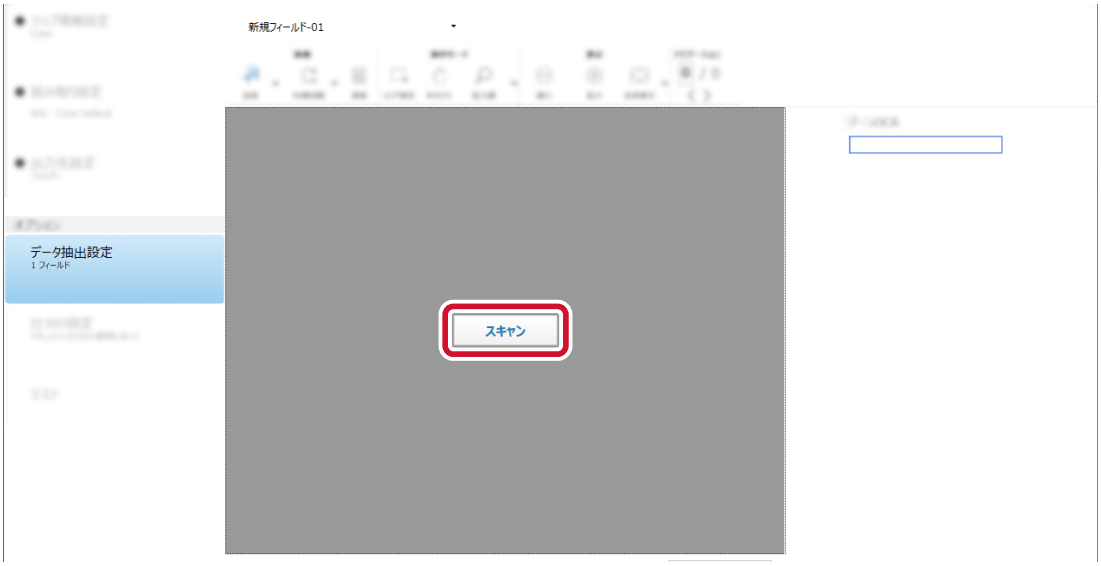
  **c** 「検出エリア」で「エリア定義」を選択します。

  **d** ［エリアを定義 >>］ボタンをクリックします。




**7 スキャナーに、手順 1 で用意した原稿を 1 枚セットします。**

**8 ［スキャン］をクリックします。**



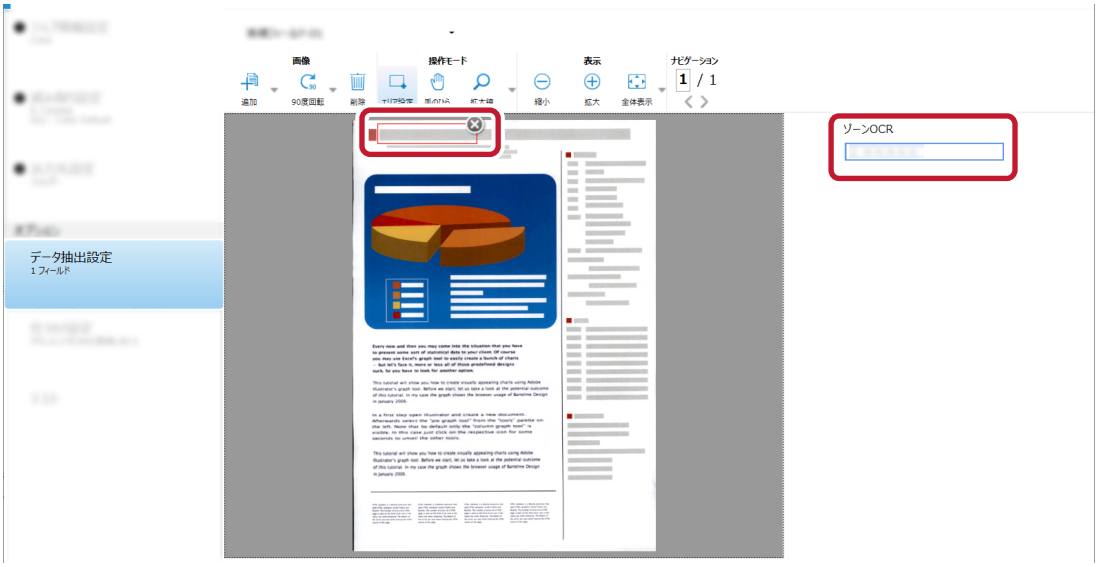

**9 文字列またはバーコードを読み取るエリアを設定します。**

読み取る範囲をマウスの左ボタンをクリックしながら選択します。
選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、選択を解除できます。

認識されると、フィールドパネルに認識結果が表示されます。
以下は、「種別」で「ゾーン OCR」を選択した場合の画面例です。

「種別」が「バーコード」の場合、選択した領域は青色の枠囲みで表示されます。




認識領域の編集は、ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリックすると、終了できます。

**10 正しく認識されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。**

「データ抽出設定」タブ画面に戻ります。

**11 [保存] ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**12 [閉じる] ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

**13 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

**14 原稿を読み取ります。**

➡ 第 5 章 原稿を読み取る (21 ページ)

**15 読み取った画像を確認します。**

「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、読み取った画像および抽出したデータを確認します。
必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。

**ヒント**

- ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスの左ボタンを長押ししても、認識領域を編集できます。
  また、認識領域の編集は、以下の方法で終了できます。
  - ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリック
  - ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスを右クリック

## 7.13 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報をインデックスファイルに出力する こだわり作成

7.12 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する こだわり作成 (51 ページ)で読み取った抽出データ（文字情報、バーコード/QR コードなど）を、インデックスファイルに出力できます。

1 **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

2 **「データ抽出設定」タブで、原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を認識するための設定をします。**

➡ 7.12 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する こだわり作成 (51 ページ)

3 **「出力先設定」タブで、インデックス情報ファイルを設定します。**

a **「インデックス情報を出力する」チェックボックスにチェックを付けます。**

b **「ファイル形式」でインデックス情報ファイルのファイル形式を選択します。**

c **インデックス情報ファイルの出力方法を「ドキュメント毎に 1 ファイル」または「バッチ毎に 1 ファイル」から選択します。**




4 **インデックスファイルに出力する項目を設定します。**

a **「インデックスファイル」の［データの選択］ボタンをクリックします。**

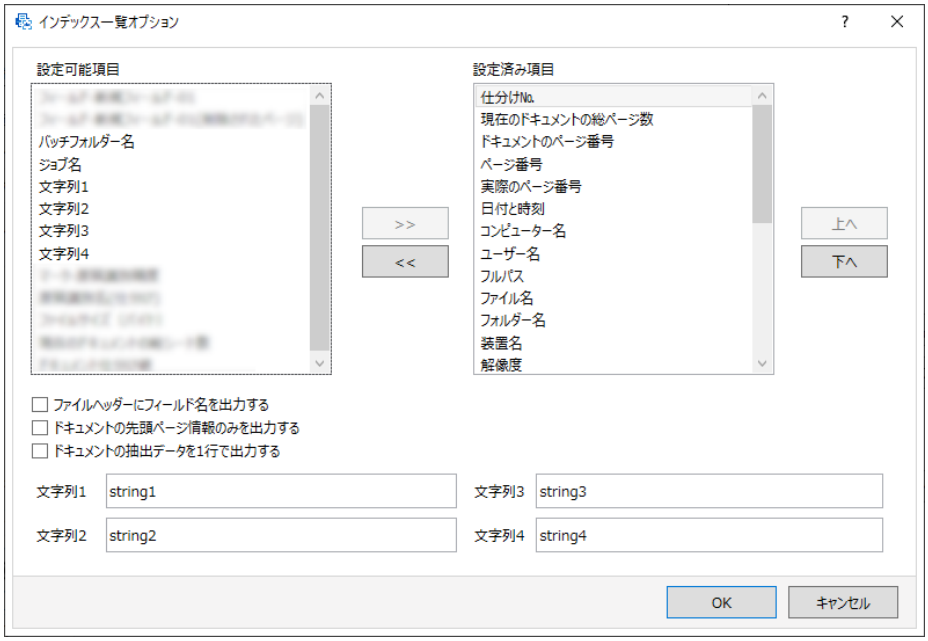
インデックス一覧オプション画面が表示されます。

b **設定済み項目で不要な項目を選択し、［<<］ボタンをクリックして、設定可能項目側へ移動します。**

c **設定可能項目で必要な項目を選択し、［>>］ボタンをクリックして、設定済み項目側へ移動します。**

d **項目を選択し、［上へ］ボタンまたは［下へ］ボタンをクリックして、インデックスファイルに出力する順序を設定します。**

**e インデックス情報ファイルのファイル形式を「TXT」または「CSV」に指定していて、項目名を出力したい場合は、「ファイルヘッダーにフィールド名を出力する」チェックボックスにチェックを付けます。**




**5 [OK] ボタンをクリックします。**

「出力先設定」タブに戻ります。

**6 [保存] ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**7 [閉じる] ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.14 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報をファイル名やフォルダー名に使用する こだわり作成

7.12 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する こだわり作成 (51 ページ)で読み取った抽出データ（文字情報、バーコード/QR コードなど）を、ファイル名やフォルダー名に使用できます。

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。**

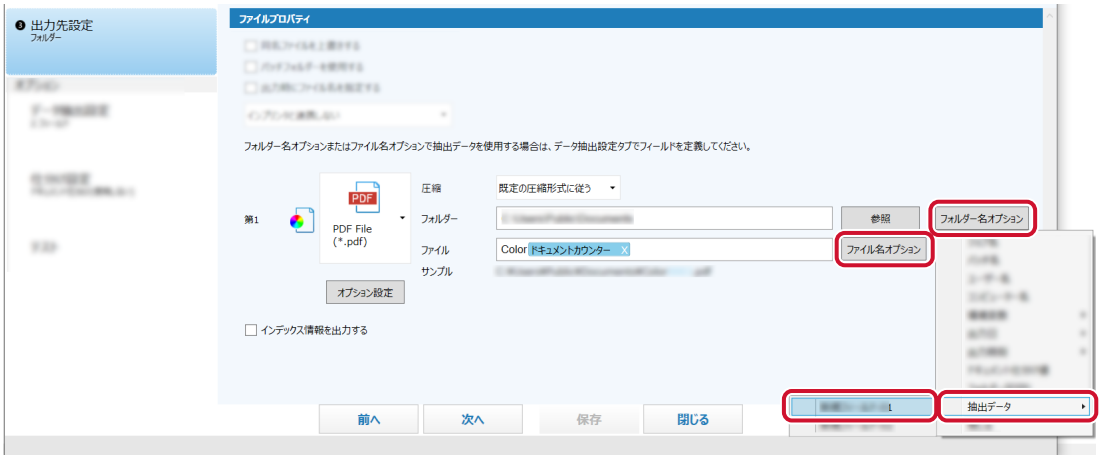
**2 「データ抽出設定」タブで、原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を認識するための設定をします。**

➡ 7.12 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する こだわり作成 (51 ページ)

**3 「出力先設定」タブを選択します。**

**4 「ファイルプロパティ」で［フォルダー名オプション］ボタンまたは［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。**

表示されたメニューから、「抽出データ」をクリックして、使用するフィールド名を選択します。




「フォルダー」または「ファイル」の入力域にタグ形式で追加されます。

**5 「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。**

**6 ［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**7 ［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

**8 ［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

**9 原稿を読み取ります。**

➡ 第 5 章 原稿を読み取る (21 ページ)

**10 読み取った画像を確認します。**

「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、読み取った画像および抽出したデータを確認します。
必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。

**重要**

- 同じジョブを使って読み取ると、ファイル名が重複する場合があります。以下を設定すると、ファイルを誤って上書きしないようにできます。
  - ［カウンターオプション］ボタンをクリックし、表示される「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」で「初期値を自動更新する」を選択
  - 出力先フォルダーが読み取りごとに変わるよう、出力先フォルダーのフォルダー名オプションを設定

## 7.15 原稿内の文字列やバーコード/QR コードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける こだわり作成

原稿内の文字列やバーコード/QR コードの認識結果を利用して、連続して読み取った画像のファイルを分割できます。
ここではこだわり作成で、原稿内の文字列やバーコード/QR コードの認識結果を使用して、複数のファイルに分割し、文字列ごとに出力先フォルダーに振り分ける手順を説明します。

**1 仕分け用の原稿を用意します。**

**2 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

**3 「仕分け設定」タブを選択します。**

**4 「ドキュメント仕分け」の各項目を設定します。**

- 文字列で仕分ける場合

  **a** 「仕分けの種類」で「ゾーン OCR」を選択します。

  **b** 認識する言語を「言語」のドロップダウンリストから選択します。

  **c** 認識する文字列を「認識文字列」に入力し、入力域の横にあるドロップダウンリストから認識の条件を選択します。

  **d** ［エリアを定義 >>］ボタンをクリックします。




- バーコード/QR コードで仕分ける場合

  **a** 「仕分けの種類」で「バーコード」を選択します。

  **b** 「仕分けに使用するバーコードの種類」から検知するバーコードの種類を 1 つ以上選択します。

  **c** 「検出エリア」で「エリア定義」を選択します。

**d** ［エリアを定義 >>］ボタンをクリックします。




**5 スキャナーに、手順 1 で用意した原稿を 1 枚セットします。**

**6 ［スキャン］をクリックします。**



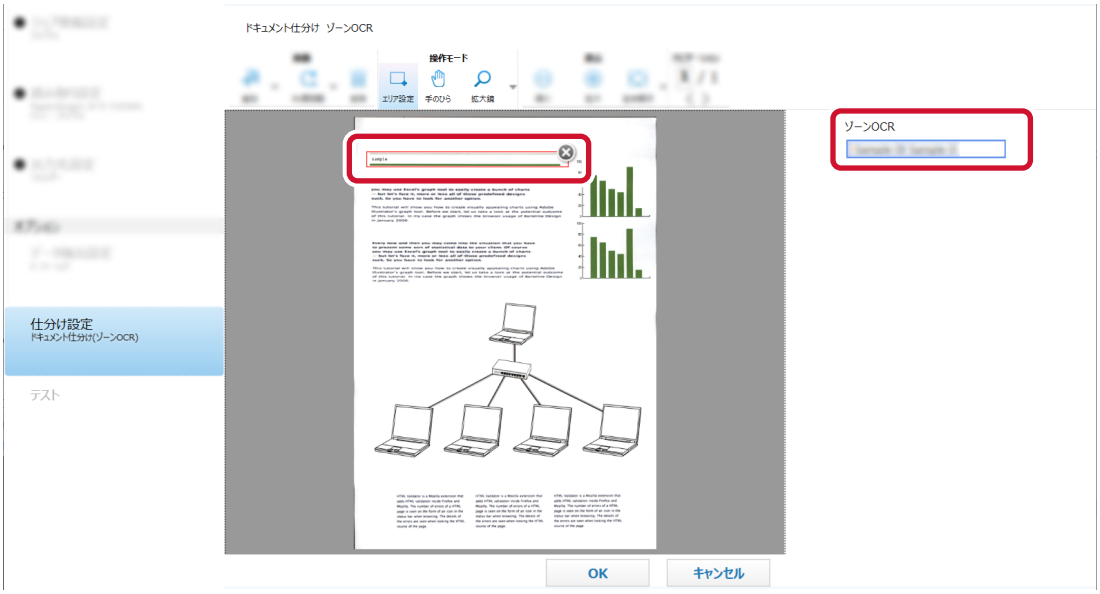

**7 文字列またはバーコードを読み取るエリアを設定します。**

読み取る範囲をマウスの左ボタンをクリックしながら選択します。
選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン（ ）をクリックすると、選択を解除できます。

認識されると、フィールドパネルに認識結果が表示されます。
以下は、「仕分けの種類」で「ゾーン OCR」を選択した場合の画面例です。

「仕分けの種類」が「バーコード」の場合、選択した領域は青色の枠囲みで表示されます。




**8 正しく認識されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。**

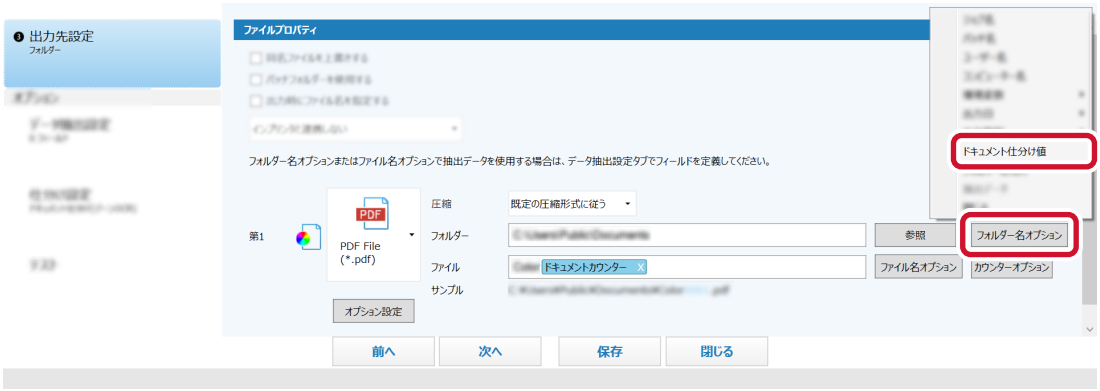
「仕分け設定」タブに戻ります。

**9 「出力先設定」タブをクリックします。**

**10 「出力先」で、読み取った画像の出力先をクリックします。**

**11 「ファイルプロパティ」で［フォルダー名オプション］ボタンまたは［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。**

**12 表示されたメニューから、「ドキュメント仕分け値」を選択します。**




「フォルダー」または「ファイル」にドキュメント仕分け値が追加されます。

**13 「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。**

**14 [保存] ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**15 [閉じる] ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

**16** **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

**17** **読み取る原稿を用意し、仕分け用の原稿を区切りたい位置に入れます。**

**18** **原稿を読み取ります。**

➡ 第 5 章 原稿を読み取る (21 ページ)

原稿が仕分け用原稿の位置で分割されながら読み取りされます。

**19** **読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。**

画像を確認/編集する画面で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。
必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

## 7.16 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する




抽出データを設定すると、定型帳票に記載された以下の情報を読み取って、認識した文字列をファイル名やフォルダー名として活用したり、インデックス情報として出力したりできます。

- ゾーン OCR
- バーコード

ここでは、こだわり作成で、ゾーン OCR を使用して、帳票の文字列の情報を読み取る手順を説明します。

### 7.16.1 情報を抽出するエリアを手動で追加する

**1** **登録する帳票の原稿を用意します。**

- 以下の用紙サイズの帳票を登録できます。
  - A3 ～ A7
  - 73.66 × 104.14 mm ～ 304.8 × 431.8 mm（2.9 × 4.1 インチ ～ 12 × 17 インチ）
- 帳票は、最大 1000 個まで登録できます。
- 未記入の帳票を登録することを推奨します。

**2** **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

**3** **「データ抽出設定」タブを選択します。**

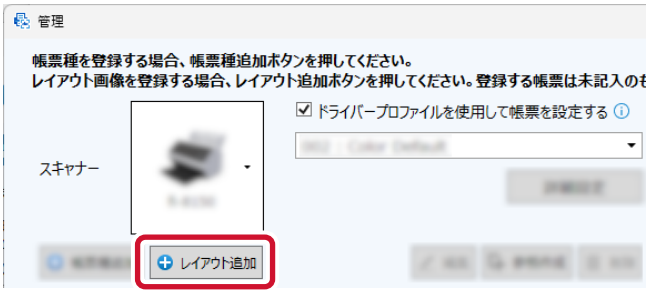
**4** **「適用対象の単位」で「帳票」を選択します。**

**5** **［管理］ボタンをクリックします。**

**6** **帳票を登録します。**

一度に複数の帳票を登録できます。

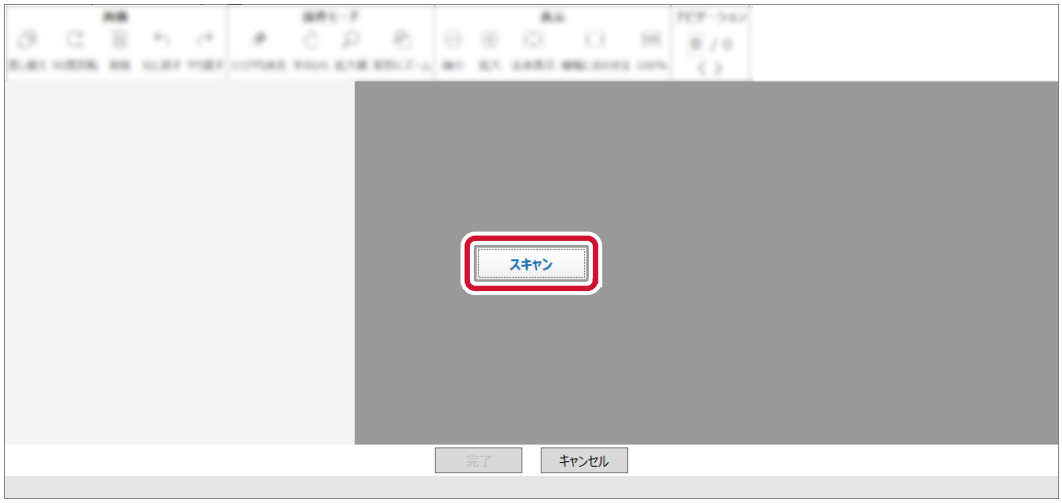
**a ［レイアウト追加］ボタンをクリックします。**



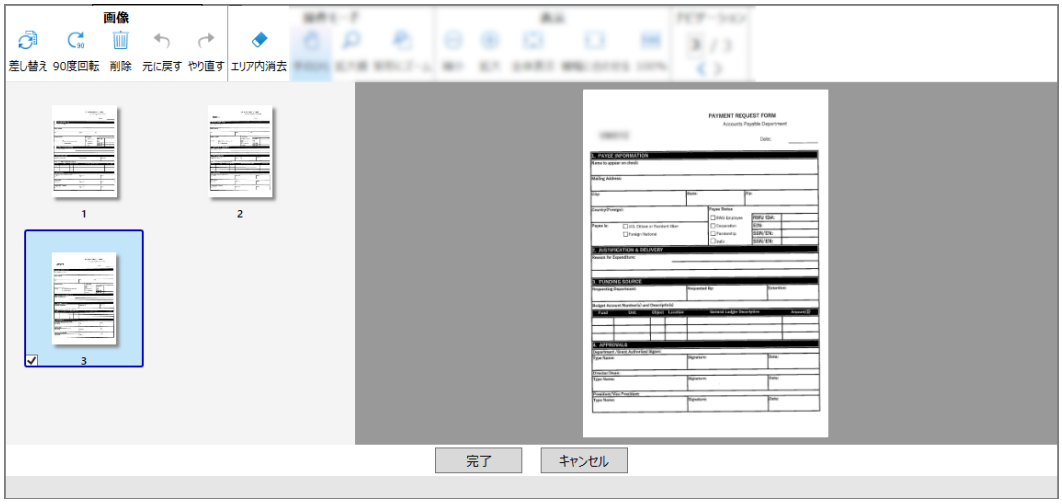

帳票の背景に小さい文字や薄い模様などのパターン（地紋）があり、認識精度が低くなる場合は、「ドライバープロファイルを使用して帳票を設定する」チェックボックスにチェックを付けて、デフォルトの読み取り設定（画像タイプ：カラー、解像度：300dpi、用紙サイズ：自動）を変更できます。
表示されるドロップダウンリストから、使用する PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。また、［詳細設定］ボタンをクリックして、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを編集できます。

**b スキャナーに、登録する帳票の原稿をセットします。**

**c ［スキャン］をクリックします。**



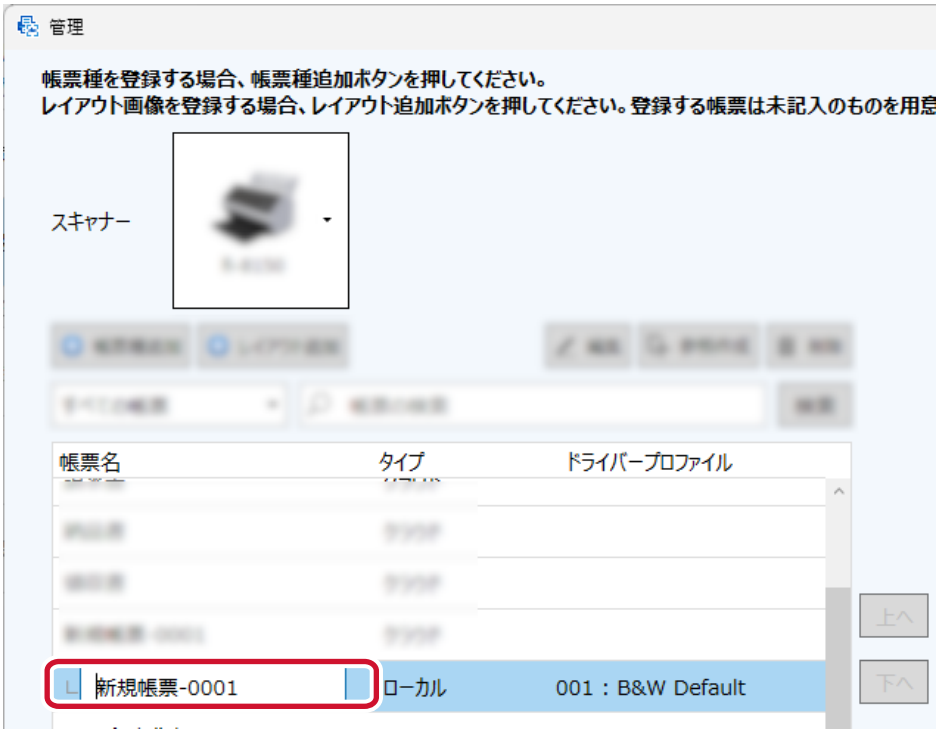
**d 読み取った定型帳票の画像を確認します。**




- 定型帳票に印字済みの文字領域を認識させる場合は、ツールバーの「エリア内消去」をクリックして、読み取った画像上で対象の印字文字の領域をドラッグして消去します。
- 定型帳票を登録しない場合は、サムネール一覧で対象のページを選択して、ツールバーの「削除」をクリックします。

**e［完了］ボタンをクリックします。**

**f「帳票名」のテキストボックスをクリックして、帳票名を入力します。**



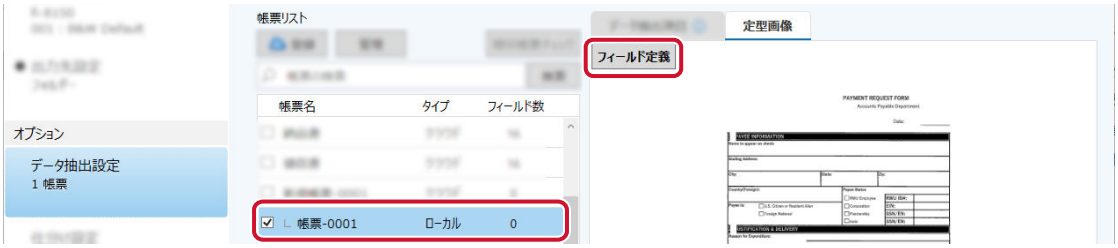

**g 必要に応じて、帳票の追加、編集、参照作成、削除を行います。**

**h［閉じる］ボタンをクリックします。**

**7 帳票リストでデータを抽出する帳票のチェックボックスにチェックを付けて、［フィールド定義］ボタンをクリックします。**

帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズの設定が異なる場合、帳票リストの帳票名の横に が表示されます。

をマウスでポイントすると表示されるメッセージを確認して、対処してください。




「フィールド定義」画面が表示されます。

**8 [追加] ボタンをクリックします。**

**9 フィールドを追加します。**

ここでは、文字列の情報を読み取る場合の手順を説明します。

**a 文字列を読み取るエリアを設定します。**

読み取る範囲をマウスの左ボタンをクリックしながら選択します。

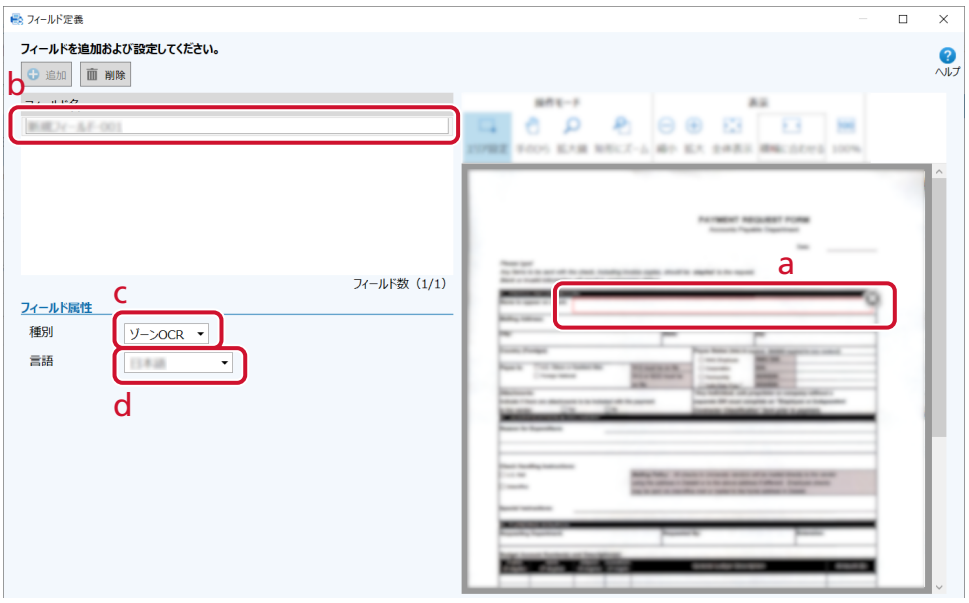
選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン（ ）をクリックすると、選択を解除できます。

**b フィールドリストのフィールド名をクリックして、フィールド名を編集します。**

**c 「種別」で「ゾーン OCR」を選択します。**

**d 使用する言語を「言語」のドロップダウンリストから選択します。**




**10 [完了] ボタンをクリックします。**

「データ抽出設定」タブ画面に戻ります。

**11** **手順 7～10 の操作を繰り返して、各帳票にフィールドを追加します。**

**12** **「帳票リスト」で複数の帳票をチェックしている場合は、[類似帳票チェック] ボタンをクリックして、類似する帳票がないかをチェックします。**

表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合は、「帳票識別フィールド設定」画面が表示され、類似する定型帳票を識別するための設定ができます。

**13** **[保存] ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

帳票リストで複数の帳票にチェックを付けているときに表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合は、「帳票識別フィールド設定」画面が表示され、類似する定型帳票を識別するための設定ができます。

**14** **[閉じる] ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

**15** **[前の画面に戻る] ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

**16** **原稿を読み取ります。**

原稿は、登録した帳票と同じ向きになるようにセットしてください。

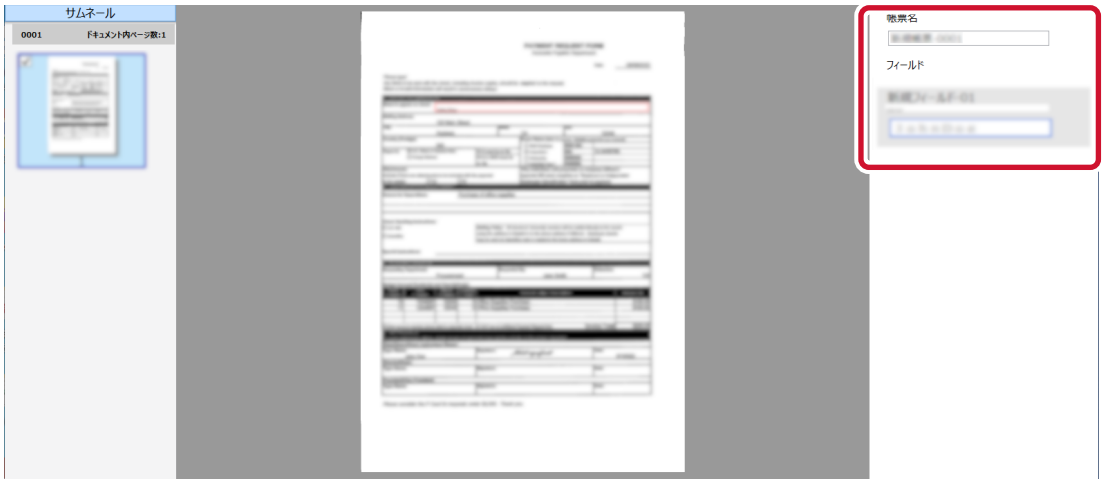
➡ 第 5 章 原稿を読み取る (21 ページ)

**17** **読み取った画像を確認します。**

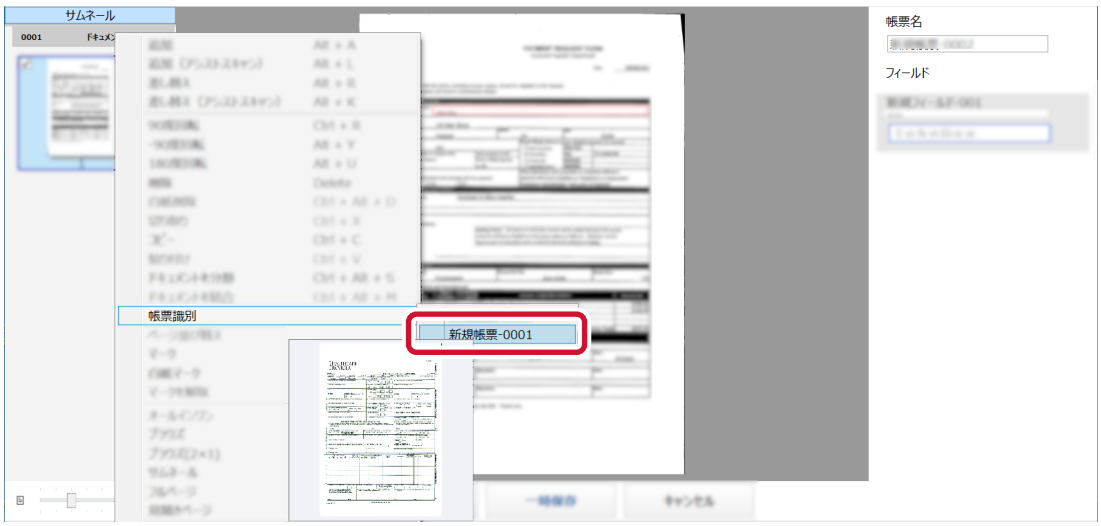
**a** **ツールバーの「表示」が「オールインワン」または「フルページ」になっているかを確認します。**

**b** **フィールドパネルの「帳票名」や「フィールド」の抽出データを確認します。**

必要に応じて、抽出データを編集します。



**c 再度、帳票のデータを抽出する場合は、サムネールで対象のページを右クリックして、表示されたメニューで「帳票識別」を選択して、対象の帳票名を選択します。**




**ヒント**

- ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスの左ボタンを長押ししても、認識領域を編集できます。
  また、認識領域の編集は、以下の方法で終了できます。
  - ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリック
  - ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスを右クリック

## 7.17 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報をインデックスファイルに出力する こだわり作成

7.16 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する こだわり作成 (61 ページ)で読み取った抽出データ（文字情報、バーコード/QR コードなど）を、インデックスファイルに出力できます。
ここではこだわり作成で、インデックスファイルに出力する項目を選択し、インデックスファイルを出力する設定手順を説明します。

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

**2 「データ抽出設定」タブで、帳票内の文字列やバーコード/QR コードの情報を認識するための設定をします。**

➡ 7.16 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する こだわり作成 (61 ページ)

**3 「出力先設定」タブで、インデックス情報ファイルを設定します。**

**a 「インデックス情報を出力する」チェックボックスにチェックを付けます。**

**b 「ファイル形式」でインデックス情報ファイルのファイル形式を選択します。**

**c インデックス情報ファイルの出力方法を「ドキュメント毎に 1 ファイル」または「バッチ毎に 1 ファイル」から選択します。**




**4 インデックスファイルに出力する項目を設定します。**

**a 「インデックスファイル」の［データの選択］ボタンをクリックします。**

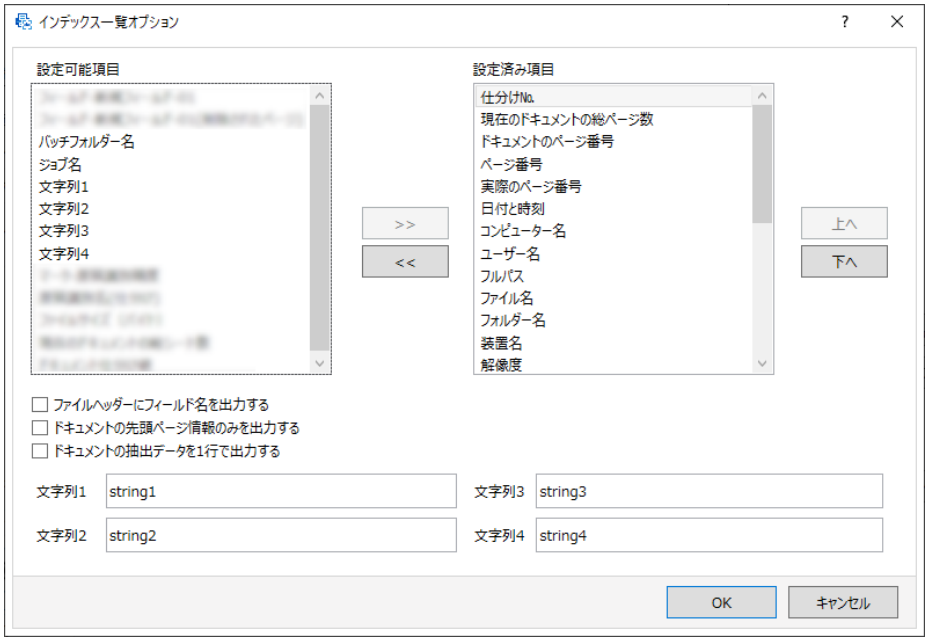
インデックス一覧オプション画面が表示されます。

**b 設定済み項目で不要な項目を選択し、［<<］ボタンをクリックして、設定可能項目側へ移動します。**

**c 設定可能項目で必要な項目を選択し、［>>］ボタンをクリックして、設定済み項目側へ移動します。**

**d 項目を選択し、［上へ］ボタンまたは［下へ］ボタンをクリックして、インデックスファイルに出力する順序を設定します。**

**e インデックス情報ファイルのファイル形式を「TXT」または「CSV」に指定していて、項目名を出力したい場合は、「ファイルヘッダーにフィールド名を出力する」チェックボックスにチェックを付けます。**




**5 [OK] ボタンをクリックします。**

「出力先設定」タブに戻ります。

**6 [保存] ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**7 [閉じる] ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

## 7.18 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報をファイル名やフォルダー名に使用する こだわり作成

7.16 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する こだわり作成 (61 ページ)で読み取った文字列の認識結果やバーコード/QR コードの検出結果を、ファイル名やフォルダー名に使用する手順を説明します。

ここでは、こだわり作成で設定する手順を説明します。

**1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。**

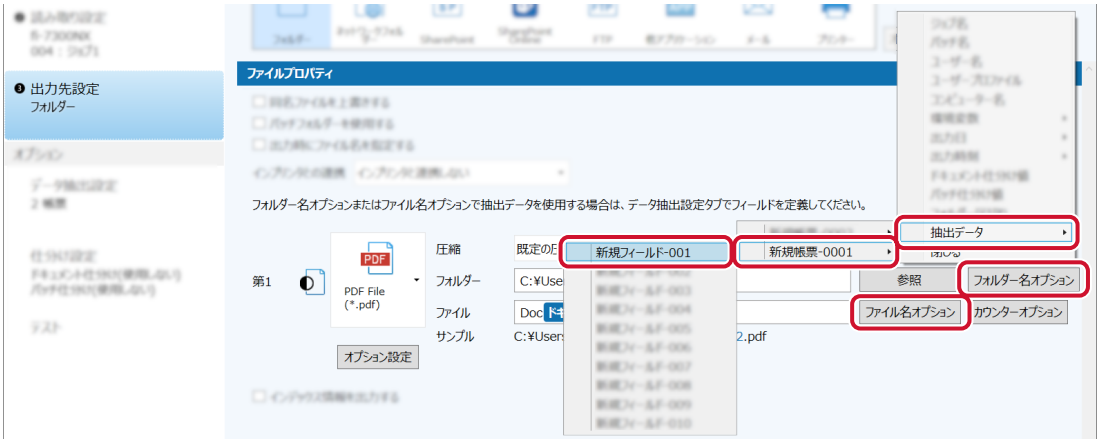
**2 「データ抽出設定」タブで、帳票内の文字列やバーコード/QR コードの情報を認識するための設定をします。**

➡ 7.16 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する こだわり作成 (61 ページ)

**3 「出力先設定」タブを選択します。**

**4 「ファイルプロパティ」で［フォルダー名オプション］ボタンまたは［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。**

表示されたメニューから、「抽出データ」をクリックして、使用する帳票名とフィールド名を選択します。




「フォルダー」または「ファイル」の入力域にタグ形式で追加されます。

**5 「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。**

**6 ［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

**7 ［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

**8 ［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

**9 原稿を読み取ります。**

➡ 第 5 章 原稿を読み取る (21 ページ)

**10 読み取った画像を確認します。**

「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、読み取った画像および抽出したデータを確認します。
必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。

**重要**

- 同じジョブを使って読み取ると、ファイル名が重複する場合があります。以下を設定すると、ファイルを誤って上書きしないようにできます。
  - ［カウンターオプション］ボタンをクリックし、表示される「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」で「初期値を自動更新する」を選択

- 出力先フォルダーが読み取りごとに変わるよう、出力先フォルダーのフォルダー名オプションを設定

## 7.19 定型帳票の種類ごとに画像ファイルを自動で仕分ける こだわり作成

連続して読み取った画像のファイルを、帳票の種類ごとに分割できます。

**1 登録する帳票の原稿を用意します。**

- 以下の用紙サイズの帳票を登録できます。
  - A3 ～ A7
  - 73.66 × 104.14 mm ～ 304.8 × 431.8 mm（2.9 × 4.1 インチ ～ 12 × 17 インチ）
- 帳票は、最大 1000 個まで登録できます。
- 未記入の帳票を登録することを推奨します。

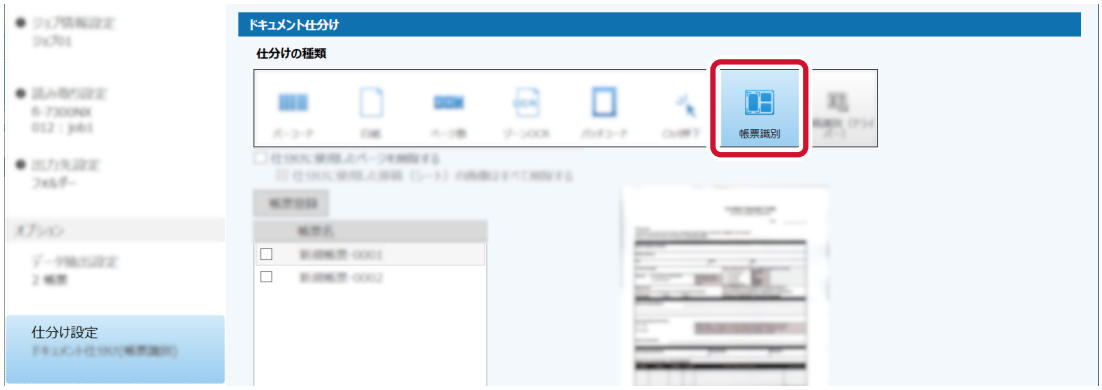
**2 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

**3 「仕分け設定」タブを選択します。**

**4 「仕分けの種類」で「帳票識別」を選択します。**

帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズの設定が異なる場合、帳票リストの帳票名の横に が表示されます。

をマウスでポイントすると表示されるメッセージを確認して、対処してください。

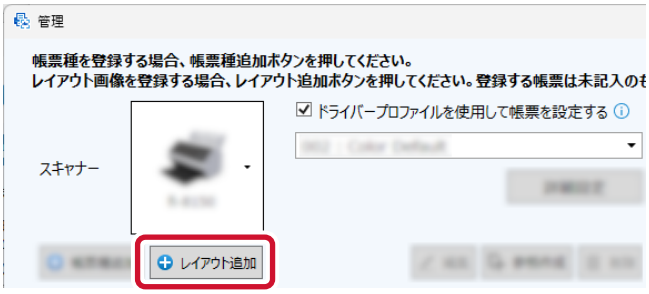



**5 ［管理］ボタンをクリックします。**

**6 帳票を登録します。**

一度に複数の帳票を登録できます。

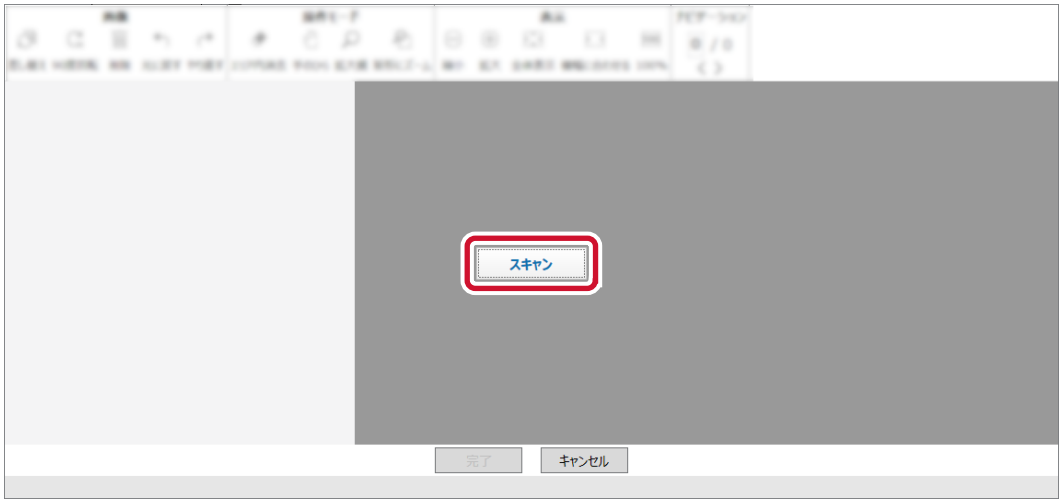
**a ［レイアウト追加］ボタンをクリックします。**



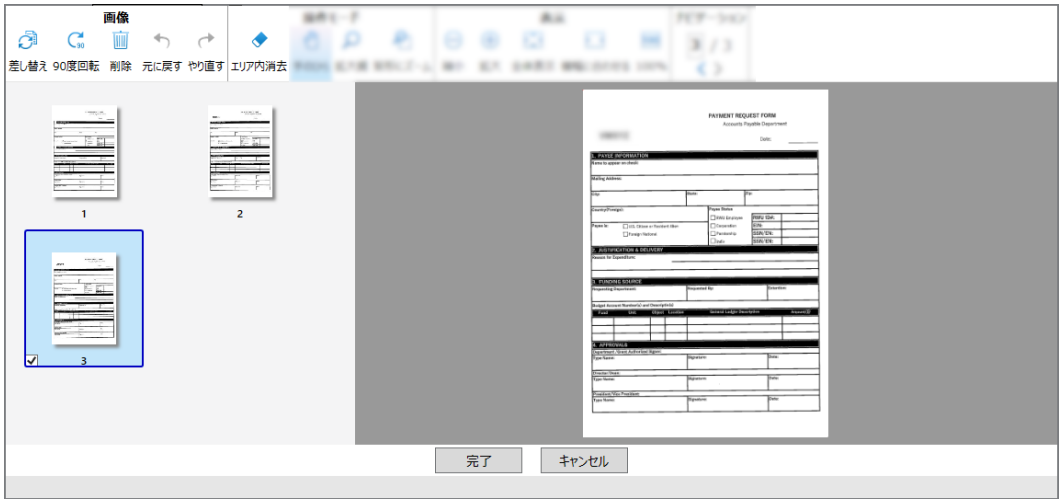

帳票の背景に小さい文字や薄い模様などのパターン（地紋）があり、認識精度が低くなる場合は、「ドライバープロファイルを使用して帳票を設定する」チェックボックスにチェックを付けて、デフォルトの読み取り設定（画像タイプ：カラー、解像度：300dpi、用紙サイズ：自動）を変更できます。
表示されるドロップダウンリストから、使用する PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。また、［詳細設定］ボタンをクリックして、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを編集できます。

**b スキャナーに、登録する帳票の原稿をセットします。**

**c ［スキャン］をクリックします。**



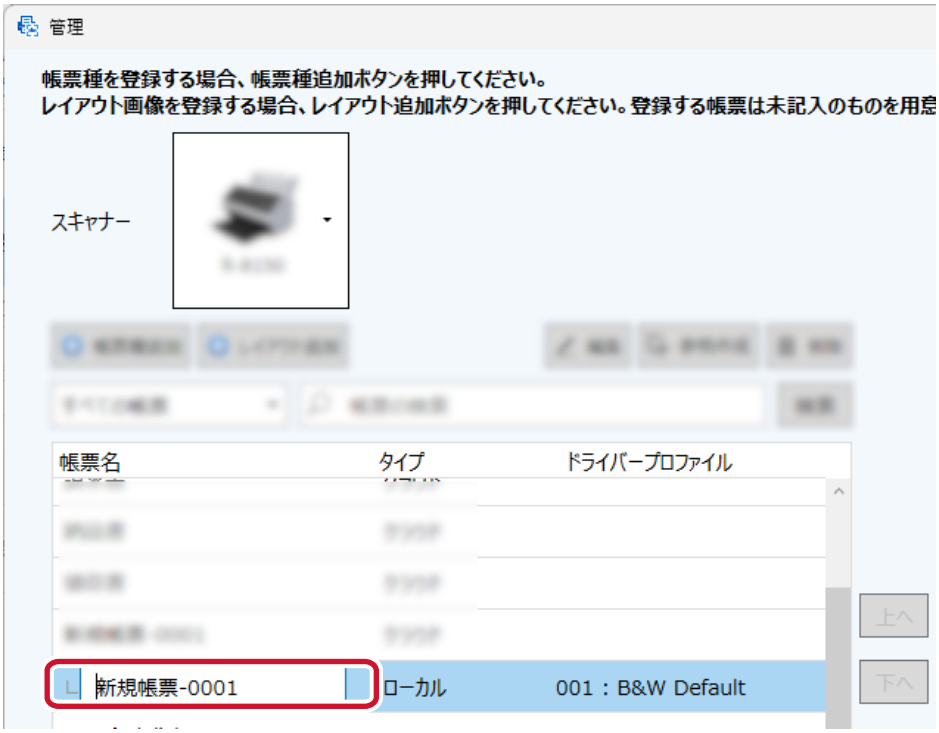
**d 読み取った定型帳票の画像を確認します。**




- 定型帳票に印字済みの文字領域を認識させる場合は、ツールバーの「エリア内消去」をクリックして、読み取った画像上で対象の印字文字の領域をドラッグして消去します。
- 定型帳票を登録しない場合は、サムネール一覧で対象のページを選択して、ツールバーの「削除」をクリックします。

**e［完了］ボタンをクリックします。**

**f「帳票名」のテキストボックスをクリックして、帳票名を入力します。**




**g 必要に応じて、帳票の追加、編集、参照作成、削除を行います。**

**h［閉じる］ボタンをクリックします。**

**7 帳票リストで、仕分けの対象にする帳票のチェックボックスにチェックを付けます。**

**8 「帳票リスト」で複数の帳票をチェックしている場合は、[類似帳票チェック] ボタンをクリックして、類似する帳票がないかをチェックします。**

表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合は、「帳票識別フィールド設定」画面が表示され、類似する定型帳票を識別するための設定ができます。

**9 「出力先設定」タブを選択します。**

**10 「ファイルプロパティ」で [フォルダー名オプション] ボタンをクリックします。**

表示されたメニューから、「ドキュメント仕分け値」をクリックします。




「フォルダー」の入力域にタグ形式で追加されます。

**11 「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。**

**12 [保存] ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

帳票リストで複数の帳票にチェックを付けているときに表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合は、「帳票識別フィールド設定」画面が表示され、類似する定型帳票を識別するための設定ができます。

**13 [閉じる] ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

**14 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

**15 読み取る帳票を用意します。**

**16 帳票を読み取ります。**

➡ 第 5 章 原稿を読み取る (21 ページ)

帳票の種類ごとに仕分けされながら読み取りされます。

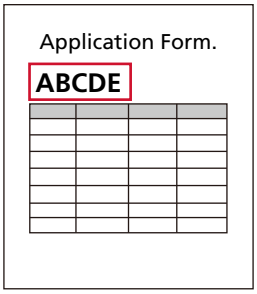
**17 読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。**

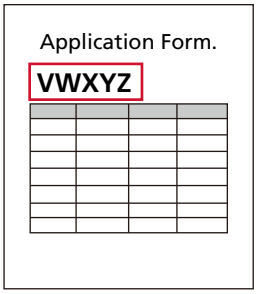
画像を確認/編集する画面で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。

必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

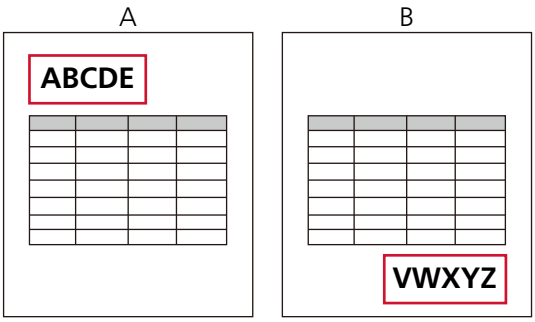
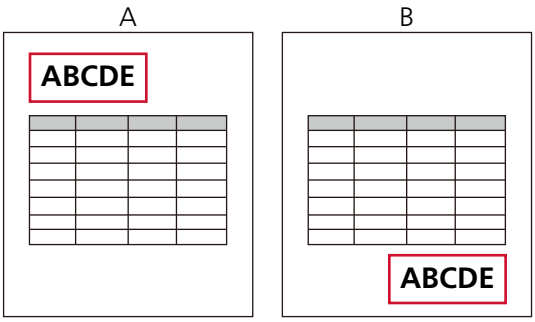
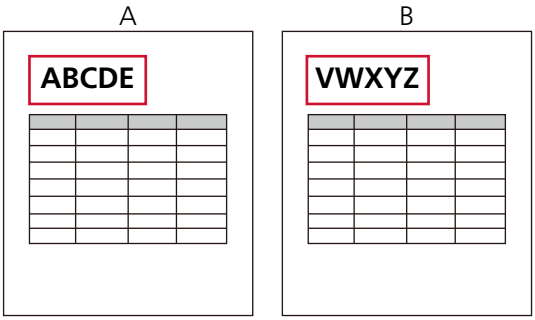
## 7.20 類似の定型帳票を識別する

類似する定型帳票がある場合に、定型帳票を識別するためのキーワード（活字文字列）を検出する帳票識別フィールドを設定することで、類似する定型帳票をそれぞれ別の帳票として識別できるようになります。
帳票識別フィールドを設定していない場合、類似する帳票があるとエラーになります。
例えば、以下の類似する定型帳票で、差異のある活字文字列（ABCDE と VWXYZ）の領域を帳票識別フィールド（赤枠）に設定すると、それぞれを別の帳票として識別できるようになります。

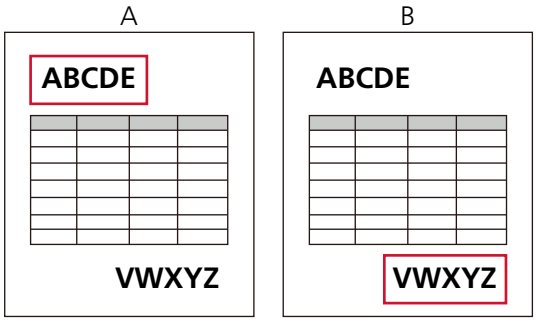



以下に、PaperStream Capture で識別可能な帳票識別フィールドの設定例を示します。

| | |
|---|---|
| 帳票識別フィールドの位置およびキーワード（活字文字列）が異なる |  |
| 帳票識別フィールドの位置が異なる |  |
| 帳票識別フィールドの位置が同じで、キーワード（活字文字列）が異なる |  |

ただし、以下のように帳票識別フィールドの位置に同じ活字文字列がある帳票は、識別できません。

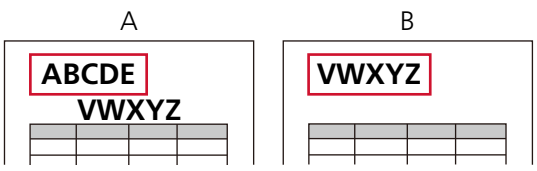



帳票識別フィールドは、以下の画面で設定できます。

- 「帳票編集」画面
  「管理」画面の帳票リストで帳票を選択して、［編集］ボタンをクリックすると、表示されます。
  設定済みの帳票識別フィールドの編集および削除もできます。
- 「帳票識別フィールド設定」画面
  以下の操作を行い、表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合に表示されます。
  - 「データ抽出設定」タブで［類似帳票チェック］ボタンをクリックした場合
  - 「仕分け設定」タブで「帳票識別」を選択して、［類似帳票チェック］ボタンをクリックした場合
  - ジョブの設定画面で［保存］ボタンをクリックした場合

**重要**

- 帳票識別フィールドは、定型帳票に印字されている活字文字列の領域に設定してください。アイコンや手書き文字は設定できません。
  また、以下の条件を満たしてください。
  - 活字文字列の条件
    - 横書き
    - フォントサイズが 10 ～ 36 ポイント
    - ほかの帳票にはない、その帳票だけに印字されている文字を多く含めること
      ただし、数字だけの文字列は、誤認識される場合があります。
  - 帳票識別フィールドの条件
    帳票識別フィールドの周辺に、ほかの帳票で設定した帳票識別フィールドの文字列が印字されていないこと
    例えば、帳票識別フィールド（赤枠）の設定が以下の場合、帳票 A が帳票 B だと識別される場合があります。




- 類似する定型帳票の識別を行う場合は、対象の帳票すべてに帳票識別フィールドを設定してください。

ここでは、ジョブを保存するときに表示されたメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合の手順を説明します。

1 **「帳票識別フィールド設定」画面で、帳票識別フィールドを設定します。**
サムネール一覧に類似帳票がグループ単位で表示され、帳票識別フィールドの設定が必要なページが選択されています。

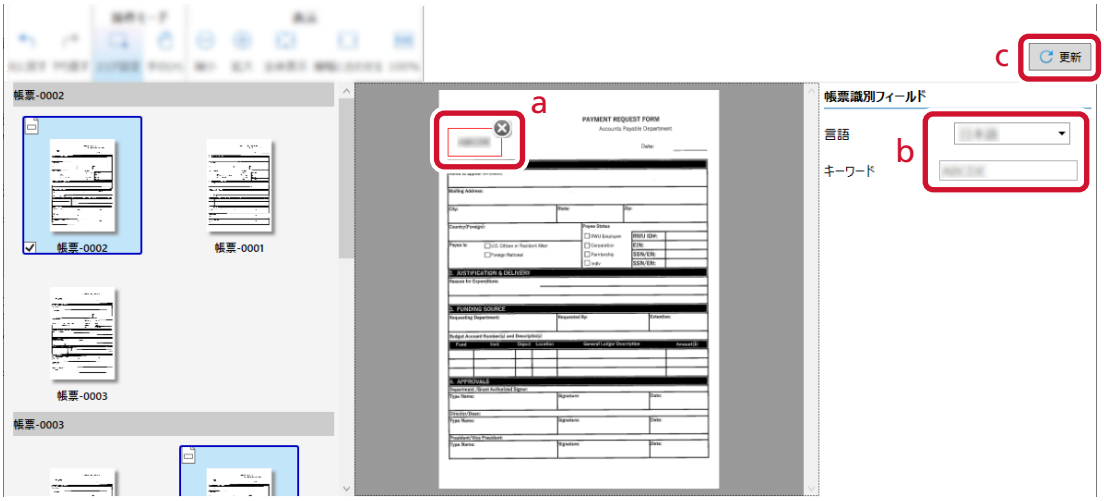
a **帳票識別フィールドを設定する活字文字列の領域を、マウスの左ボタンをクリックしながら選択します。**

活字文字列が認識されると、「キーワード」に認識結果が表示されます。

b **帳票識別フィールドの位置やエリアサイズ、および「帳票識別フィールド」の設定を確認し、必要に応じて編集します。**

c **［更新］ボタンをクリックします。**

サムネール一覧が更新され、別の帳票として識別できるようになった帳票は表示されなくなります。




2 **続けて、残りの類似帳票に帳票識別フィールドを設定する場合は、表示されるメッセージで帳票識別フィールドを設定する応答をして、手順 1 の操作を繰り返します。**

3 **［完了］ボタンをクリックします。**

帳票識別フィールドの設定が保存され、元の画面に戻ります。

4 **［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

# 第 8 章
# 運用環境を移出/移入する

複数のコンピューターで、PaperStream Capture を使用している場合、作成したジョブなどを「運用環境の移出」ツールで移出ファイルとして取り出し、その移出ファイルを、「運用環境の移入」ツールで、ほかのコンピューターの PaperStream Capture に移入すれば、簡単に同じ運用環境を構築できます。
PaperStream Capture で移出/移入できる運用環境の設定は、以下のとおりです。

- ジョブ（サンプルジョブを除く）
- ドライバープロファイル
- 登録帳票
- 「管理ツール」画面の設定

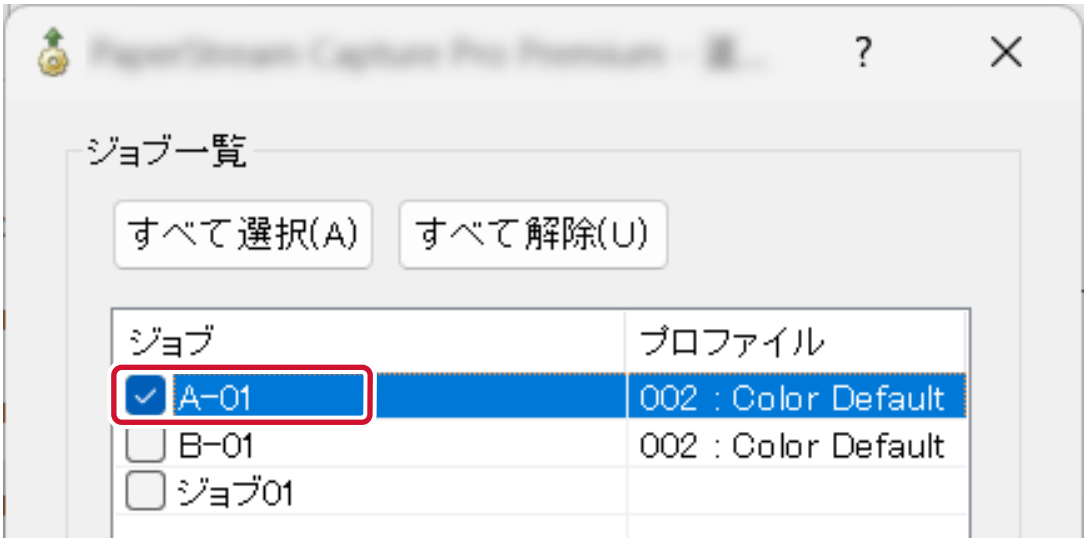
## 8.1 運用環境を移出する

PaperStream Capture で作成したジョブやドライバーのプロファイルなどを含む運用環境を移出します。

**1 「運用環境の移出」画面を表示します。**

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
  「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「運用環境の移出」をクリックします。
- Windows 11 / Windows Server 2025
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「運用環境の移出」をクリックします。

**2 移出するジョブのチェックボックスにチェックを付けます。**




**3 [実行] ボタンをクリックします。**

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

**4 移出ファイルを保存する場所やファイル名を指定して、[保存] ボタンをクリックします。**

PaperStream Capture の運用環境が移出され、移出処理完了のメッセージが表示されます。
移出ファイルは、「.dpav」の拡張子で作成されます。

**5 ［OK］ボタンをクリックします。**

運用環境が移出されます。
移出ファイルは、運用環境のバックアップとしても利用できます。

## 8.2 運用環境をほかのコンピューターに移入する

8.1 運用環境を移出する (77 ページ)で移出した PaperStream Capture の運用環境を移入します。

**重要**

- 運用環境の移入する場合、マルチステーション運用のストレージサーバーは管理者権限が必要です。
- 移入先コンピューターの PaperStream Capture および PaperStream IP のバージョンは、移出元と同じ版数以降にしてください。
- 移入先の帳票数が 1000 を超える場合、移入できません。

**1 運用環境を移入する前に、移入先の運用環境のバックアップを作成します。**

移入方法によっては、移入先の既存ジョブ、帳票、帳票リストが上書きまたは置換される場合があります。先に移入先の運用環境を移出することで、バックアップを作成できます。

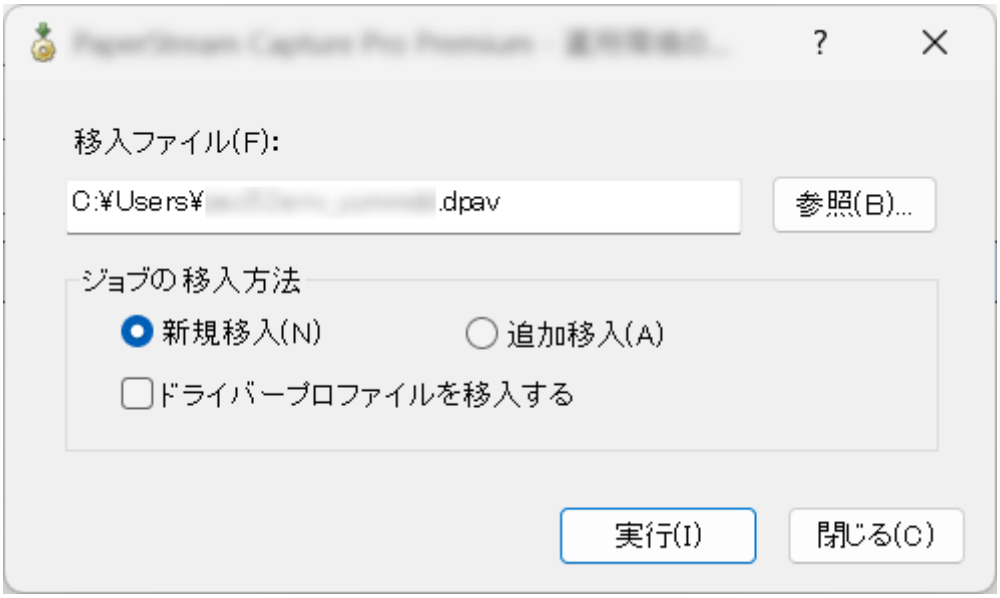
➡ 8.1 運用環境を移出する (77 ページ)

**2 「運用環境の移入」画面を表示します。**

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「運用環境の移入」をクリックします。
- Windows 11 / Windows Server 2025
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「運用環境の移入」をクリックします。

**3 移入するファイルを指定します。**

[参照] ボタンをクリックして、8.1 運用環境を移出する (77 ページ)で移出したファイル（.dpav（旧形式の場合は.cab））を指定してください。




**4 運用環境の移入方法を選択します。**

移入方法には以下の種類があります。

- 新規移入

  PaperStream Capture に現在登録されている運用環境のうち、サンプルジョブ以外をすべて削除し、移入ファイル内の運用環境に置き換えます。
  選択すると、「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックスが表示されます。
  こだわり作成のジョブに関連付けられているドライバープロファイルも移入する場合は、チェックを付けてください。

  - 新しいコンピューターに移入する場合

    「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックスにチェックを付けてください。
    チェックを外すと、ドライバープロファイルが移入されないため、こだわり作成のジョブが正常に動作しないことがあります。

  - PaperStream Capture を運用中で、すでにドライバープロファイルが登録されているコンピューターに移入する場合

    - 「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックスにチェックを付けると、運用中のドライバープロファイルをすべて削除し、移入ファイル内のドライバープロファイルに置き換えます。
    - 削除せずに残しておきたいドライバープロファイルがある場合は、チェックを外してください。
      チェックを外して移入すると、こだわり作成のジョブには移出元のドライバープロファイルと同じ番号のドライバープロファイルが関連付けられるため、こだわり作成のジョブが正常に動作しないことがあります。
      移出元と移入先でドライバープロファイルの設定が異なる場合は、以下の手順でドライバープロファイルを設定してください。

      a 「読み取り設定」タブの［詳細設定］ボタンをクリックして、移出元と同じ設定のドライバープロファイルを新規作成します。

b 「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」で、新規作成したドライバープロファイルを選択して、ジョブを保存します。

- 追加移入
  移入ファイル内の以下の運用環境を、PaperStream Capture に追加します。
  - ジョブ
  - 帳票リストでチェックが付いている帳票、およびフィールドが定義されている帳票
  -「管理ツール」画面の設定

  この場合、ドライバープロファイルは移入されません。こだわり作成のジョブで使用するドライバープロファイルを新規に作成してください。

**5 [実行] ボタンをクリックします。**

移入処理完了のメッセージが表示されます。

**6 [OK] ボタンをクリックします。**

運用環境が移入されます。

**重要**

- 新しいバージョンの PaperStream Capture で移出した移出ファイルは、前のバージョンの PaperStream Capture に移入できません。

**ヒント**

- 移入するファイルの拡張子が「.dpav」の場合、ファイルを直接ダブルクリックして「運用環境の移入」画面を開けます。この方法で画面を開いたときは、手順 3 からの操作を行ってください。
- 移入すると、移出元に設定されたイベントがある場合、移入先にもそのイベントが設定されます（イベントは、「ユーザビリティー」タブの「イベント」で設定の確認ができます）。
  新規移入した場合は、管理ツールの「イベント」以外の設定も移入先に設定されます。
- 「バッチ管理」画面に、一時保存または中断しているバッチがある場合、「新規移入」は選択できません。バッチを出力または削除してから、運用環境の移入を再度実行してください。

## 8.3 運用環境の移入結果を確認する

**1 移入結果が格納されているフォルダーを開きます。**

デフォルトの移入結果格納先は以下のとおりです。
C:¥Users¥ユーザー名¥Documents¥PaperStreamCapture

**2 ログファイルをダブルクリックします。**

デフォルトのファイル形式およびファイル名は、以下のとおりです。

- ファイル形式
  CSV
- ファイル名
  PSCImpProfile.csv

**3 1 行目にログが出力された日時、2 行目以降に、移入された各ジョブの移入結果が表示されます。**

移入に成功した場合は「OK」、移入に失敗した場合は「NG」が表示されます。
例えば、2017 年 11 月 20 日月曜日 17 時 53 分 16 秒に Job1 と Job2 を移入し、移入結果が Job1 は成功、Job2 は失敗だった場合、以下のように表示されます。

| Monday. November 20. 2017 17:53:16 | | |
|---|---|---|
| NG | NEW | Job2 |
| OK | NEW | Job1 |

移入結果が「NG」と表示された場合、以下が原因として考えられます。表示されるメッセージにしたがって対応を行い、再度移出入を行ってください。

- 移入先の帳票数が上限を超えている。
  不要な帳票を削除して再度移入してください。
- 移入先に帳票 ID の異なる同名帳票がある。
  帳票名の変更を行って再度移出入を行ってください。
- 帳票フィールド数が上限を超えている。
  移入先または移入する帳票の名前を変更し、再度移入してください。
- 移出元と移入先の PaperStream Capture および PaperStream IP のバージョンに差異がある。
  移入先のバージョンを更新してください。

# 第 9 章
# PaperStream Capture の仕様

PaperStream Capture の仕様と動作環境を示します。

- **仕様**

| 機能 | | PaperStream Capture |
|---|---|---|
| 読み取り | スキャナードライバー | PaperStream IP (TWAIN)<br>PaperStream IP (ISIS) |
| | 読み取り方法 | バッチスキャンモード<br>シンプルスキャンモード |
| | アドホックスキャン | ○ |
| 画像品質 | 画像チェック | 重送<br>原稿欠け、折れ/破れ<br>白紙<br>原稿識別精度（ドライバー）<br>手動マーク |
| | 画像補正 | アシストスキャン機能 |
| 仕分け | 仕分け方法 | ドキュメント仕分け |
| | 仕分けの種類 | 白紙<br>ページ数<br>ゾーン OCR<br>パッチコード<br>バーコード / 2 次元コード<br>Ctrl 押下<br>帳票識別<br>原稿識別（ドライバー）（自動プロファイル選択機能） |
| データ抽出 | データ抽出の種類 | **ページ単位**<br>バーコード/2 次元コード<br>ゾーン OCR<br>パスポート<br>ID カード(TD1)<br>ID カード(TD2)<br>**帳票単位**<br>バーコード/2 次元コード<br>ゾーン OCR |
| | 使用可能な抽出データの数 | **ページ単位**<br>1 ページあたり 20 個 |

| 機能 | | PaperStream Capture |
|---|---|---|
| | | **帳票単位**<br>1 帳票あたり 1 個 |
| | 抽出データの適用（インデキシング） | ページ単位<br>帳票単位 |
| | 文字認識（OCR）対応言語 | 28 言語（*1） |
| ファイルの出力 | ファイル形式 | Bitmap、TIFF、Multi-TIFF、JPEG、JPEG2000、PDF、SinglePage PDF、PDF/A、SinglePage PDF/A、PNG、RTF、Word、Excel、PowerPoint |
| | 出力先 | ● フォルダー、ネットワークフォルダー、SharePoint、SharePoint Online、FTP、他アプリケーション、メール、プリンター<br>● Dropbox、メール送信（基本認証）、メール送信（Exchange Online）、FAX（基本認証）、FAX（Exchange Online）、Google ドライブ、Microsoft OneDrive（*2） |
| | ファイルサイズ調整 | 9 段階（JPEG）<br>7 段階（PDF） |
| | インプリンタカウンターとファイル名の連携 | ○ |
| ファイル入力 | 画像のインポート | ○ |
| 管理 | 設定変更のロック | ○ |
| | ジョブの並べ替え | ○ |
| | ジョブの表示/非表示 | ○ |
| | 運用環境の移出/移入 | ○ |

○　設定可能

***1 :** 対象の言語は、日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語 / 中国語（簡体字） / 中国語（繁体字） / ロシア語 / 韓国語 / トルコ語 / ギリシャ語 / ベトナム語 / ポルトガル語 / アラビア語 / スウェーデン語 / オランダ語 / ポーランド語 / チェコ語 / ルーマニア語 / ヘブライ語 / ウクライナ語 / タイ語 / インドネシア語 / デンマーク語 / ノルウェー語 / ハンガリー語 / フィンランド語です。

***2 :** PaperStream Connector Option を追加でインストールすると、出力先または連携先として選択できます。

- **動作環境**

| | |
|---|---|
| オペレーティングシステム (*1) | Windows® 10 Home（32 / 64 ビット）(*2)<br>Windows® 10 Pro（32 / 64 ビット）(*2)<br>Windows® 10 Enterprise（32 / 64 ビット）(*2)<br>Windows® 10 Education（32 / 64 ビット）(*2)<br>Windows® 11 Home（64 ビット）(*2)<br>Windows® 11 Pro（64 ビット）(*2)<br>Windows® 11 Enterprise（64 ビット）(*2)<br>Windows® 11 Education（64 ビット）(*2)<br>Windows® 11 Home（ARM 版）(*2)(*3)<br>Windows® 11 Pro（ARM 版）(*2)(*3)<br>Windows® 11 Enterprise（ARM 版）(*2)(*3)<br>Windows® 11 Education（ARM 版）(*2)(*3)<br>Windows® 11 Pro Education（ARM 版）(*2)(*3)<br>Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）(*2)<br>Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）(*2)<br>Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）(*2)<br>Windows Server® 2025 Standard（64 ビット）(*2) |
| 対応ドライバー (*4) | PaperStream IP (TWAIN)<br>PaperStream IP (ISIS) |
| ソフトウェア | .NET Framework 4.7.2 以降 |
| CPU | Intel®または Intel®互換プロセッサー |
| ディスプレイ解像度（*5） | 1280×800 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ |
| ディスク容量 | 10GB 以上（*6） |
| 言語 (*7)(*8) | 日本語/英語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/中国語（簡体字）/中国語（繁体字）/ロシア語/韓国語/ポルトガル語（ブラジル）/アラビア語/トルコ語/ギリシャ語/ベトナム語/ポーランド語/チェコ語/オランダ語/スウェーデン語/ルーマニア語/ヘブライ語/ウクライナ語/タイ語/インドネシア語/デンマーク語/ノルウェー語/ハンガリー語/フィンランド語 |

***1 :** 64 ビットオペレーティングシステムについては、64 ビットオペレーティングシステム上で動作する 32 ビットアプリケーションとしてサポートします。

***2 :** デスクトップアプリケーションとして動作します。

***3 :** 対象機種のスキャナーで、ARM 版対応の PaperStream IP (TWAIN/32bit 版)利用時のみサポートします。
https://www.pfu.ricoh.com/fi/software/paperstream-capture/environment.html

***4 :** PaperStream IP (TWAIN x64) は使用できません。

***5 :** フォントサイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。この場合は、フォントサイズを小さくして使用してください。

***6 :** 原稿を読み取るときには、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。

***7 :** 以下の言語は、ゾーン OCR および検索可能な PDF による文字認識だけできます。

- ギリシャ語
- ベトナム語
- ポーランド語
- チェコ語
- オランダ語
- スウェーデン語
- ルーマニア語
- ヘブライ語
- ウクライナ語
- タイ語
- インドネシア語
- デンマーク語
- ノルウェー語
- ハンガリー語
- フィンランド語

***8 :** バッチスキャンモードの場合、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択しているときは、認識する文字の言語として、以下は指定できません。

- ギリシャ語
- ベトナム語
- ポーランド語
- チェコ語
- オランダ語
- スウェーデン語
- ルーマニア語
- ヘブライ語
- ウクライナ語
- タイ語
- インドネシア語
- デンマーク語

- ノルウェー語
- ハンガリー語
- フィンランド語

# 第 10 章
# 用語集

- **お使いになる前に**

**抽出データ**

読み取った原稿の、画像に関する情報を抽出したデータです。
ここでは、設定している全フィールドのフィールド値と認識エリアを指します。

**インデックス**

読み取った原稿の、画像に対する索引または識別用のデータを指します。
ここでは、データに抽出データが埋め込まれた状態、または埋め込む作業を指します。

**バッチスキャンモード**

定型業務向けの読み取り方法です。
ファイルの保存形式、保存先、および読み取り条件などの設定内容を、ジョブとして事前に登録し、そのジョブを使って原稿を読み取ります。

**シンプルスキャンモード**

非定型業務向けの読み取り方法です。
ファイルの保存形式、保存先、および読み取り条件などの設定内容を、必要に応じて変更して、原稿を読み取ります。

**ジョブ**

PaperStream Capture での読み取りや出力に関する条件を登録したデータです。
読み取り方法がバッチスキャンモードの場合に使用します。

**ゾーン OCR**

指定した領域に対し、OCR（光学式文字認識）を行い、文字情報を抽出する機能です。

**インデックス情報ファイル**

出力した画像に対する、データの索引または識別データの情報を出力したファイルです。

**PaperStream IP (TWAIN)**

業務用 イメージ スキャナー専用のスキャナードライバーです。
TWAIN 規格に準拠しています。

**PaperStream IP (ISIS)**

PaperStream Capture の場合の、業務用 イメージ スキャナー専用のスキャナードライバーです。
ISIS 規格に準拠しています。

**テナント**

PaperStream AI に関する情報を管理する単位です。1 契約につき 1 テナントになります。

- **基本的な読み取り操作**

**バッチ**

ジョブで設定した一連の処理を実施するまとまりを指します。

- **便利な機能**

**PaperStream ClickScan**

業務用イメージ スキャナーを利用して、簡易的な設定だけで原稿を読み取るためのアプリケーションです。

**定型帳票**

申請書やアンケートなど、どの項目をどの位置に記入するかが決まっている定型の原稿を、PaperStream Capture では「定型帳票」または「帳票」と呼びます。
事前に帳票の情報を登録しておけば、レイアウトから帳票の種類を識別して、読み取ります。
以下の方法で帳票を読み取るジョブを設定できます。

- PaperStream IP ドライバーの自動プロファイル選択機能を使用する
  PaperStream IP ドライバーで原稿識別情報を登録し、自動プロファイル選択機能を使用してプロファイルと関連付けます。PaperStream Capture のこだわり作成のジョブで「自動プロファイル選択」の設定が「オン」の ドライバープロファイルを選択することで、帳票を種類ごとに仕分けして保存できます。
- PaperStream Capture の帳票レイアウト識別機能を使用する
  事前に PaperStream Capture に帳票を登録しておくことで、帳票の種類ごとに仕分けして保存できます。また、帳票のバーコードや文字の情報を抽出して利用できます。
  こだわり作成の場合、類似の帳票は帳票識別フィールドを設定することで、それぞれ別の帳票として識別できます。

**非定型帳票**

注文書や請求書など、原稿全体のおおまかな構成や項目は共通しているものの、項目の位置や表現が帳票ごとに異なる原稿を、PaperStream Capture では「非定型帳票」と呼びます。
PaperStream AI を使用すると帳票の種類ごとに仕分けして保存できます。また、帳票の文字を抽出して利用できます。

**帳票識別フィールド**

類似の帳票を識別するためのキーワード（活字文字列）を検出する領域を指します。

**フィールド**

抽出データに関する情報を入力する領域を指します。

- **運用環境の移出/移入**

**ドライバープロファイル**

PaperStream IP ドライバーでの読み取り条件を登録したデータです。

# 第 11 章
# お問い合わせ

- **お問い合わせ窓口**

  お客様からのお問い合わせに迅速に対応いたします。
  お問い合わせで対応する内容は、以下のとおりです。

  - 業務用 イメージ スキャナー全般に関する操作や故障・トラブル
  - PaperStream Capture に関する操作
  - PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のご購入

  お使いの PaperStream Capture のバージョンを確認する場合があります。事前にバージョンを確認のうえ、お問い合わせください。
  バージョンの確認方法は、「PaperStream Capture ユーザーズガイド」の「バージョンの情報を確認する」を参照してください。
  なお、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の技術的なサポートのお問い合わせは、ご購入後にご案内する専用のお問い合わせ窓口をご利用ください。

| | |
|---|---|
| **お問い合わせ先** | 株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター |
| **ホームページ** | 以下のホームページをご覧ください。<br>https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html |

- **PaperStream AI ライセンスの購入について**

  PaperStream AI ライセンスの販売可能国は、アメリカ合衆国および日本です。

  - はじめて PaperStream AI を購入する場合
    PaperStream Capture のメイン画面で［PaperStream AI］ボタンをクリックして、無償評価版ご利用のお申込みを送信してください。
  - PaperStream AI を追加購入する場合
    管理者ロールでダッシュボードにログインして、「ホーム」画面の「サポート情報」にある「ライセンスの追加 / 更新」をクリックして購入手続きを行ってください。